

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 東北支部

JCCA TOHOKU

明日への風、
東北から



vol. **58**
支部だより 2018.10

目 次

Vol.58

• 巻頭言「支部創立50周年によせて」(株)復建技術コンサルタント 藤島 芳男	1
• 特集 「TOHOKU復興から創生そして近未来への提言」 東北支部 総務部会長 小泉 勝則	2
• 海外紀行 「平成30年度 JCCA・WAVE 欧州インフラ事情調査」(株)復建技術コンサルタント 平野 至史	4
• 若手技術者の声 「若手の会 調査WG活動報告 ～アンケート調査～」 東北支部 総務部会 若手の会 調査WG (株)三協技術 佐々木香菜子	10
• 技術士合格体験記 八千代エンジニアリング(株) 権神 侑貴	12
.....(株)建設技術研究所 加藤 史子	13
• 私の趣味 「趣味に埋もれた生活」 大日本コンサルタント(株) 菊地 浩典	14
• 新規会員の紹介 「私たちは土と水と緑の技術で社会に貢献します」 国土防災技術(株) 齋藤 彰朗	16
「溢れる笑顔と明るい未来のために」(株)土木技研 松原 和則	17
• 支部活動報告 平成30年度支部定時報告.....	18
平成30年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会.....	19
9月3日「災害時対応演習」を実施.....	20
• 特集 「EE東北'18」.....	21
「平成30年度 東北支部会員 東北地方整備局優良業務表彰について」.....	22
• 支部だより.....	32
• 会員の動向.....	38
• 東北支部 会員名簿.....	40
• 編集後記..... 広報委員会 (株)建設技術研究所 大場 秀行	42



「巻頭言」支部創立50周年によせて

株式会社 復建技術コンサルタント 藤 島 芳 男

はじめに、一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部が創立50周年の節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。40周年当時の支部長であった縁で、今回の依頼と伺っております。会員の皆様には、多大なご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして心より御礼と感謝申し上げます。

もう10年になります。平成20年6月、岩手・宮城内陸地震が発生し、建コン東北支部とテックフォース（緊急災害対策派遣隊）との初めての出会いとなりました。今をご存知のとおりテックフォースは、東日本大震災をはじめ、全国で毎年のように発生する大規模自然災害に対し、被災地支援と早期復旧に貢献しております。当支部は、支援協力依頼に応えるべく、現地調査等に参加させて頂きました。緊急且つ作業時間の制限もあり、会員構成が限られた中での懸命の対応には、今も記憶に留めております。その時役立ったのが、平成13年度に東北地方整備局と締結（吉川元支部長）されていた、災害協定でした。この協定によって早期復旧に向け、極めて機動的な初動対応に繋げることが出来ました。これを機に翌年の平成21年5月、建コン東北支部と宮城県との災害協定が締結され、地方自治体と初めての協定となりました。2年後にあの東日本大震災が発生し甚大な被害をもたらされたのです。このような経験によって、緊急時における組織の初動体制のあり方や日常からの定期的な準備・訓練がいかに重要かを学び、教訓として今も深く心に刻ませて頂いております。現在は、東北6県全てで災害協定が結ばれたと伺いました。動静を把握した支部の日常活動に、敬意を表しております。

東北は、東日本大震災からの復興期間の途中にあります。最初の5年間は、集中復興期間と位置づけられ、今は後半5年間の復興・創生期間にあたります。期間

終了後の東北は、公共事業が大幅に減少するのでは、との危機感があります。今後も継続した公共事業を確保する取り組みを大きな課題と捉えております。国内では、今年も大阪北部地震や7月の西日本豪雨のように、河川氾濫などの深刻な被害が全国各地で頻発しております。公共事業の拡大は、地域住民の生命や財産を守ると共に、保全を担う地域の活性化を支えるうえでも必要不可欠です。この度、建コン東北支部は、東北地方の未来を見据えた「TOHOKU復興から創生そして近未来への提言」を提案しました。東北支部は、従前より毎年社会資本整備の必要性について、「これからの良質な社会資本整備をめざして」と題したシンポジウムを開催し、一般社会の理解を求めて参りました。本提案の「事業」や「プロジェクト」が今後一つでも多く反映され、地域創生に寄与することを切に願っております。

本年度の要望と提案は、改正品確法を踏まえた、担い手確保、就業関係の改善、生産性・技術力・品質の向上、安定経営を挙げております。若手技術者の確保・長時間労働の解消は、地域コンサルタントにとって重い課題ですが、本部との連携強化やご支援を頂き、改善の道が開けるものと信じております。総合評価方式や表彰制度は東北6県全てで実施されており、今後は県との協定を背景とした市町村への拡大が大いに期待されます。

おわりに、次の節目の60周年には東北の各地域が以前に増して震災から甦ると共に、建コン東北支部が更なる成長を遂げ、学生が憧れる魅力と希望に満ちた建設コンサルタントとなりますよう心からご祈念申し上げます。巻頭のご挨拶とさせていただきます。

以上

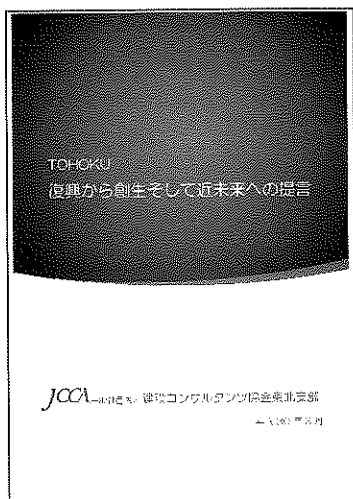
TOHOKU 復興から創生そして近未来への提言

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部
総務部会 部長 小 泉 勝 則

1. はじめに

一般社団法人建設コンサルタンツ協会東北支部では、東北地方の自立的な発展を目指して、「TOHOKU 復興から創生そして近未来への提言」を策定しました。

この提言は、地域経済の活性化や、安全・安心な社会の実現のために必要とされる高品質なインフラ整備の必要性について取り纏めたものです。作業にあたっては、建設分野に限ることなく、農林水産業、経済・産業、環境等の多方面の分野を包括的に含んだ内容を取り扱いました。



TOHOKU復興から創生
そして近未来への提言

2. 取り組み方と検討内容

この提言の本格的な検討は、昨年6月から開始し、3月に概ね完了しましたので検討期間は約10カ月間です。その間、各ワーキングでは精力的な検討が行なわれ、収集した資料は膨大な量に及びます。その資料のひとつひとつから東北地方の現状と課題を浮かび上げらせ、自立的な発展のための提言を取り纏めました。

経済の発展や安全・安心な社会の実現が提案の大きな柱になっています。しかし、そのみの提案では、高度経済成長下の太平洋沿岸や瀬戸内海などにみられた広域的なベルトコンベア地帯が発達した時のように、効率的ではありますが、画一的になる恐れがあります。これに反してこの提案の底流には「東北らしさ」を確実に反映しています。この東北らしさは、歴史的に発展してきたもので、そこに暮らす人々と伝統や文化によって培われたものが反映されたものです。

具体的な検討は、以下のとおり実施しました。

■第一部 創生編

現状の道路や河川などの主だったインフラ事業の計画を含むことはもちろんのこと、次のワーキングを設

置してさらなる検討を進めました。

- ・第一WG：産業活性化、地域連携、復興施設の有効利用 等

東北地方の特徴である、農業・漁業などの盛んな一次産業をより活発にする6次元産業化支援のための提言や、日本海側と太平洋側の物流の難しさや港湾の活用規模が小さいなど地域連携の弱点を補う提案、及び復興施設の利活用やネットワークの提案等を行いました。

- ・第二WG：防災、減災 等

東日本大震災等数々の地震を経験した東北地方は、この他にも豪雪や火山活動などの災害を受けやすい地域のため、これら地域の防災、減災に関する弱点を補うための提案等を行いました。

- ・第三WG：自然環境の保全・活用 等

地域資源として考えられる残された自然の保護と有効活用等についての提案を行いました。

- ・第四WG：新規事業・廃炉事業等

I L C (インターナショナル・リニア・コライダー) やイノベーションコーストなどの新たな開発事業への対応の提案、原子力発電所の廃炉や放射線廃棄物の処理等への提案を行いました。

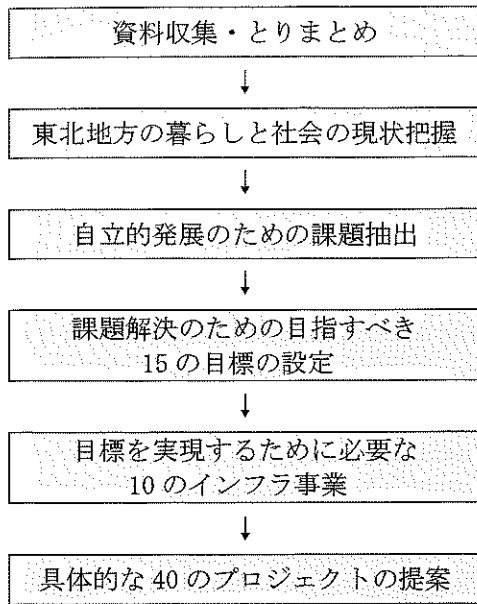
■第二部 近未来編

若手技術者(若手の会)の自由な発想で、IoT、自動運転技術などの近未来技術の成熟度を大胆に予測した上で、そのとき必要となるインフラについての提案を行いました。

3. 構成と概要

この提言は、2030年度末を目標年度とする【第一部 創生編】と2050年度末以降を目標年度とする【第二部 近未来編】の2部構成としています。

第一部 創生編では、「東北地方の暮らしと社会の現状把握」、「自立的発展に向けた課題を抽出」、「その課題の解決のための15の目標の設定」、「目標を実現するために必要な10のインフラ事業」、そして「具体的な40のプロジェクトの提案」をしています。



第I部創生編の検討フロー

第二部 近未来編では、2050年の社会情勢を推察した上で、2050年のインフラ整備のありかたを検討しました。

2050年の社会情勢として、①人口減少と高齢化、②インフラの老齢化と更新時代、③自然災害リスクの増加と防災への取組、④第1次産業の6次産業化、⑤気候変動がもたらす自然環境の変化、⑥ICT技術の成熟と低炭素社会化の6項目を重要なテーマとして選定しました。



2050年東北地方のすがた“人間味のあるランドスケープ”

これに基づき 2050年のインフラ整備のあり方を若手技術者の独創性をもとに、①高度化された土木技術活用による交流促進、②防災に関するソフト・ハード・

経験の世界展開、③“モノを壊す”から“モノを使う”インフラのリサイクル、④広大な農地を用いた研究拠点やエネルギー供給基地の整備、⑤東北らしい都市空間整備とグリーンインフラ整備の5項目を提案しています。

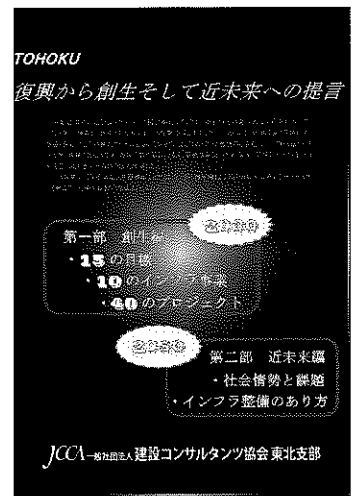
4. おわりに

提言書は、国土交通省や地方公共団体への紹介を予定しているほか、学校などの公共機関にも配布を考えています。

マスコミ（専門誌）には既に紹介しております。

紹介にあたっては、提言書の他にパンフレットも作成し、主にパンフレットを中心とした説明を行っています。

最後に、この提言書が建設事業に関わる人以外も含めた多くの方々にご一読され、これからの東北の活性化への一助となれば幸いです。



TOHOKU復興から創生そして近未来への提言パンフレット



建設通信新聞 2018.6.14掲載

平成30年度 JCCA・WAVE 欧州インフラ事情調査

株式会社 復建技術コンサルタント 平野 至史

1. はじめに

欧州の社会インフラ事情を調査することを目的として、6月8日～6月18日までの日程で欧州2ヶ国に訪問してきました。この調査は、一般財団法人港総合研究財団と一般社団法人建設コンサルタント協会が合同で平成21年から毎年1回実施しており、今年で10回目になります。

今回は、アイルランドおよび英国における港湾整備状況、港とリゾート開発、都市における再開発状況、地方都市における観光開発(地方創生)、PFI事業調査、環境に配慮したまちづくり等を主な目的として、アイルランド、イギリスを総勢24名で訪問してきました。

視察の方法は、多様な分野の専門技術者同士での交流を図ること。また、その専門性を生かすために、視察内容の特定ルート選定などを5班に分かれて検討

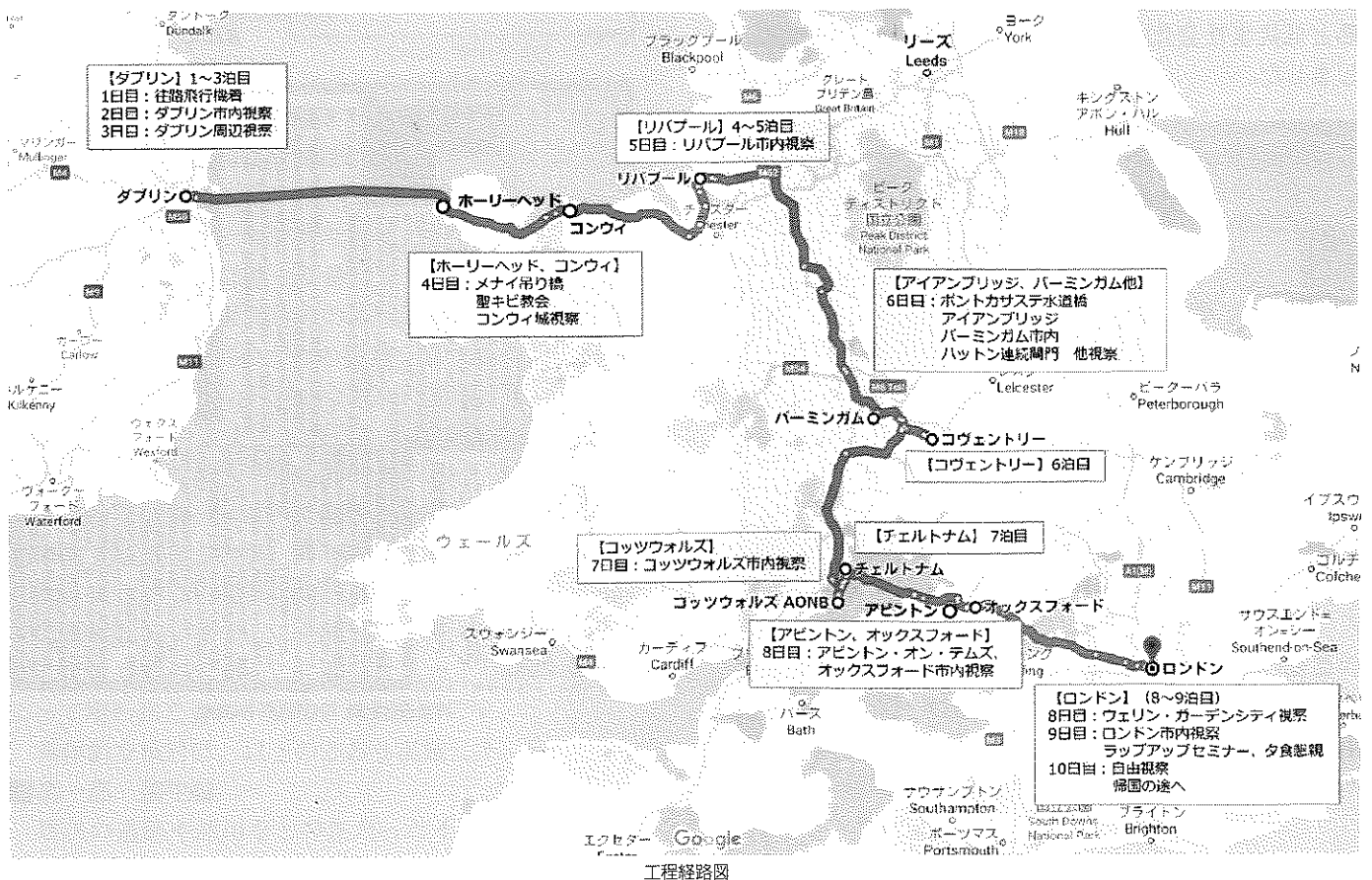
し、実際の視察時には事前に作成した資料を基に担当班が内容を説明するという形で進めて行きました。

2. 視察の概要

(1) アイルランド

アイルランドは、かつてヨーロッパで最貧国と呼ばれた国でしたが、2014年から3年連続欧州一の経済成長を達成しています。その経済成長の鍵となった金融特区(IFSC)をアイルランドの首都であるダブリンに設置し、寒冷気候による無料の空冷システムを活用したデータセンターは欧州最大規模であり、名立たる企業の誘致に成功しています。

その活気あるダブリン市内の現状と、カルスト台地が延々と広がるバレン高原や、大西洋にそびえ立つ200mの断崖を有するモハー断崖などを視察しました。



IFSC はリフィー川沿いに設定されているため、大企業のオフィスビルや商業施設が建ち並びリフィー川沿いは活気に満ち溢れている状況でした。

かつて移民を乗せた船舶が行き来していたリフィー川を渡河するサミュエル・ベケット橋は、毎年開催させる帆船の航行が可能ないように旋回式になっており、他の隣接した橋梁も同様の対策が採られていました。

サミュエル・ベケット橋はアイルランド出身のノーベル文学賞作家の名前に由来し、デザインは国の代表的なモチーフであるハーブをイメージしています。

アイルランド西部の海岸線は、自然と歴史を満喫できる見所が多い場所であり、石灰石の不思議な造形と

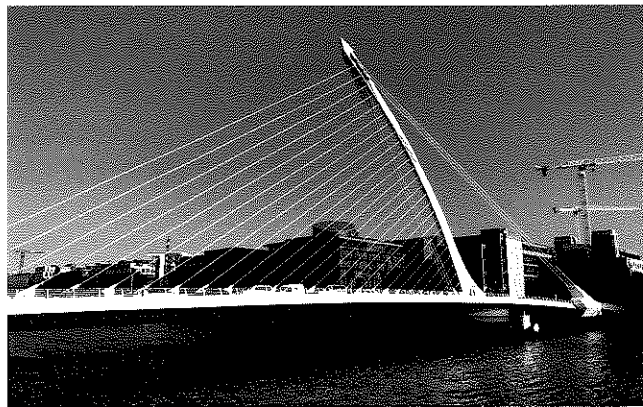
雄大な自然や中世の城跡などが見られました。



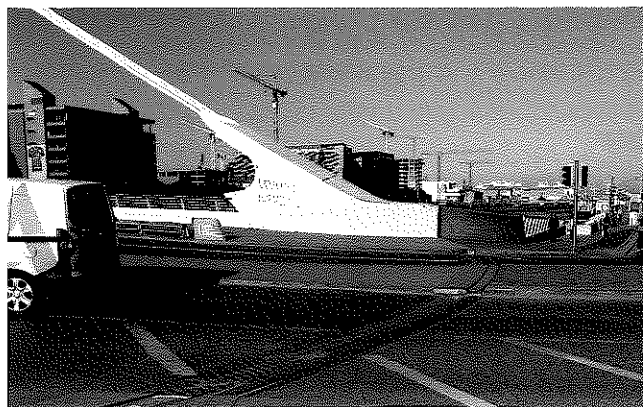
モハー断崖



カルスト台地



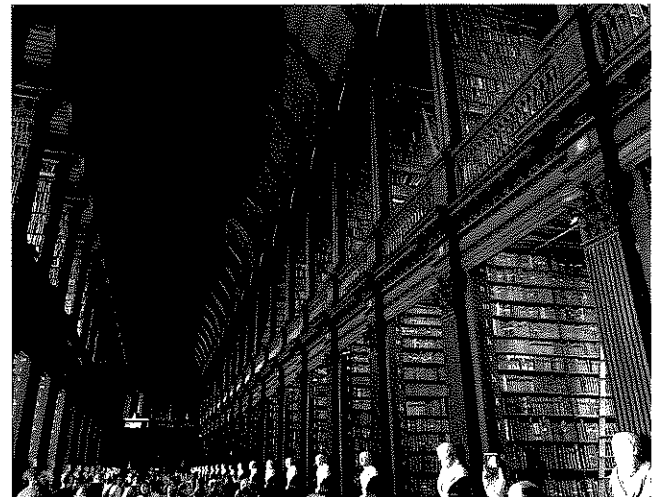
ハーブを模したサミュエル・ベケット橋



旋回可能な曲線の伸縮装置



シーン・オカジー橋（旋回式可動橋）



ダブリン市内のトリニティカレッジでは、世界で最も美しい書で有名な国宝「ケルズの書」や、スターウォーズなど、多くの映画のモデルに使われている図書館と、アイルランド最古のアイリッシュ・ハーブも見学しました。

この最古のハーブはかつてギネスが保有しており裏側にはギネスの刻印がありました。

ちなみに、ギネス・ハーブはアイルランド国章にもなっていますが、刻印が無い側が表なのでギネスのマークとは向きが反対になっています。



最古のハーブ



国章

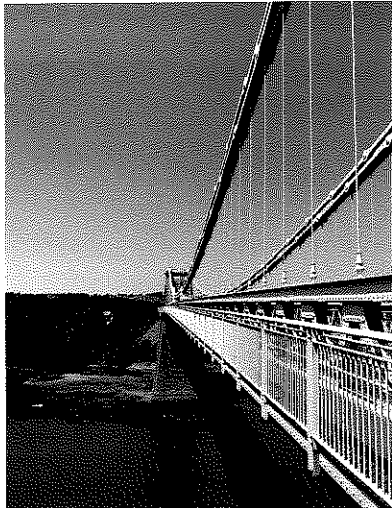
(2) イギリス

1) ホーリヘッド～リバプール

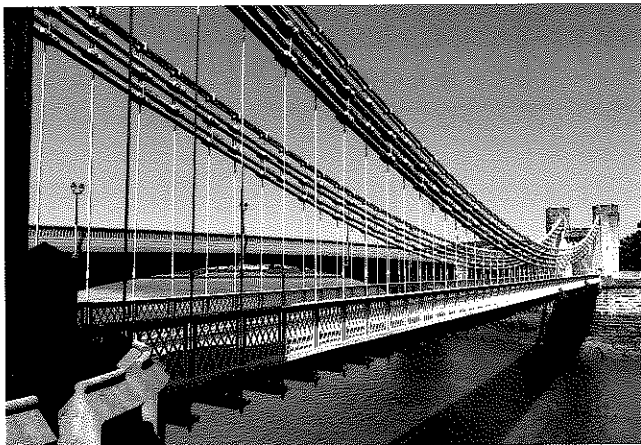
アイリッシュ湾をフェリーで渡りホーリヘッドでイギリスに入国した後は、有名なメナイ橋や世界遺産のコンウィ橋を視察しリバプールへ移動しました。

1826年に完成したトーマス・テルフォード設計のこの2橋は、供用190年の現在も通行規制なく現役で使用されています。

リバプールでは、第二次世界大戦や産業構造の変革により急速に衰退した都市が、かつての奴隷貿易や産業革命で栄えた遺産を活用しながら地域の活性化に取り組む姿を体感しました。



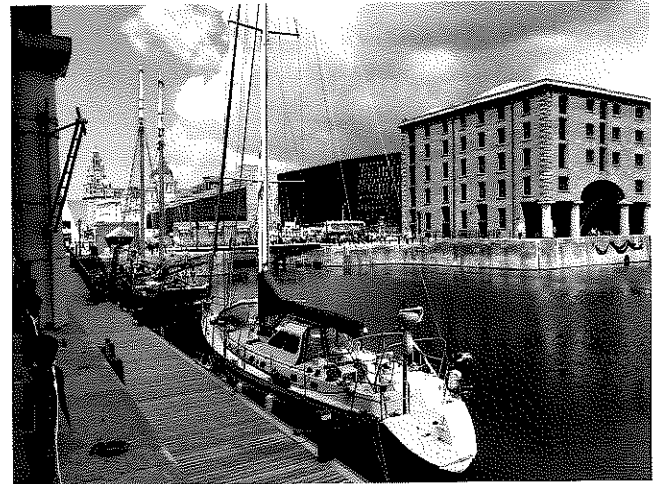
メナイ吊橋



コンウィ橋



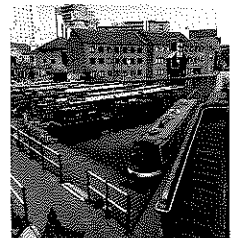
ピア・ヘッド



アルバート・ドック (リバプール)

バーミンガムへの移動の間には、世界遺産であるポントカサステ水道橋とアイアン・ブリッジを視察し、国内では初となる有料高速道路の M6 toll も通行しました。

また、バーミンガムでは歴史的価値やレジャーとして近年脚光を浴びている運河の現状を知るため、ガス・ストリート・ベイズンやハットン連続開門も視察しました。



ガス・ストリート・ベイズン

ポントカサステ水道橋もトーマス・テルフォード設計です。



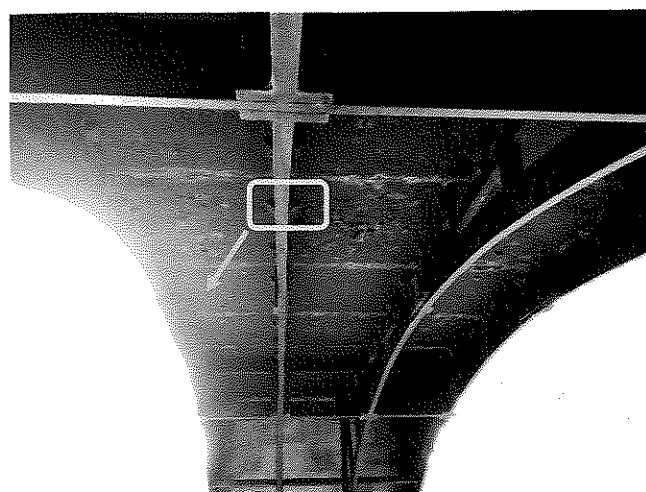
ポントカサステ水道橋

铸铁製の溝型部材を鍛鉄のアーチリブに乗せ、19基の石造りの橋脚で支えている現在も供用している水路橋で、1795年着工、1805年完成の世界遺産です。

水路部材の铸件は砂などの型枠材の影響で



(橋面)



表面に凹凸がありますが、鍛鉄は叩きながら形成されているため、表面が滑らかなになることから表面の仕上がり感の違いが近接で見ると確認できました。

水路はアーチリブには固定されておらず、鑄造された突起部材が底版にボルトで取り付けられ、この突起がアーチリブを挟み込むことで動きを防止しています。

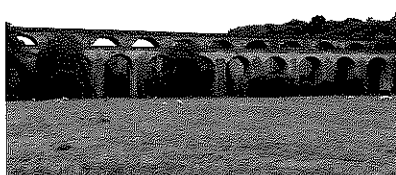
ボルトヘッドが矩形である事に疑問を持ちながら視察を終え、帰国後補修工事の際に取り外されたボルトの記録を調べると鍛冶屋の鍛造ボルトと成っていました。

これらのボルトは手作りで、鍛冶屋が鍛えネジ山を切り、それに合わせて手作りでナットも作っていた事と、200年経ってもネジ山が健全に残っていることに驚愕しました。

5 km 南方にあるチャーク水道橋はポントカサルテ水道橋の先駆けとして建設されており、外見は総石造りに

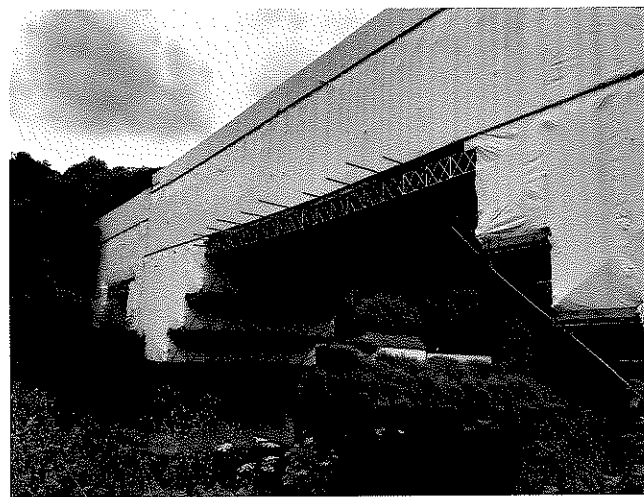


<http://www.upandundergroup.com/2014/05/ciht-pont-cysylte-aqueduc/>



チャーク水道橋

見えますが、石造壁が内側の鑄鉄製のトラフを効果的に隠している構造となっているようです。(外観視察) 並走する鉄道橋が景観的にバランスを取っていました。



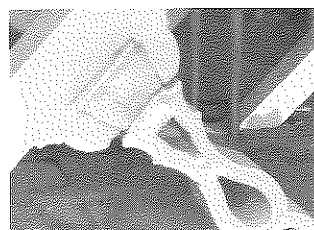
アイアン・ブリッジは1781年に開通した世界初の全部材鋼製の橋梁で、1934年に車両通行を止め現在は人道橋として使われています。建設当時は鉄を構造物に使用する技術が無く、木橋の構築技術が応用され「くさび」や「ほぞ」が結合部に使用されているのが特徴です。

本橋を調査した際には、中央部の全鉄製半円アーチ部には足場が組まれ養生シートが張られており、補修工事が実施されている状況でありましたが、橋梁の側面部に幅1m程度の足場が一般の観光客の歩行空間として解放されており、所々には窓を設置していたため、通常は見る事ができない位置から構造部材を近接目視できる工夫がされていました。

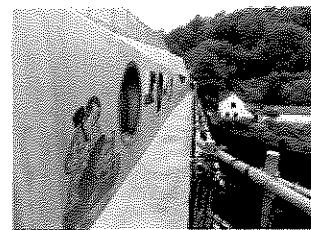
本来は、左岸側の護岸から中央アーチ部の脚部に近づき鉄製部材の接合部などを近接目視できる予定でありましたが、思わぬサプライズとなりました。



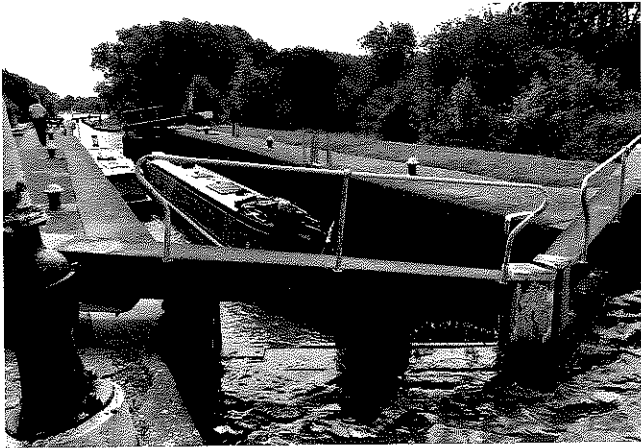
「くさび」・「ほぞ」の木製模型



接合部の実物



覗き窓の設置



ハットン連続閘門



バイブリー

3) コッツウォルズ

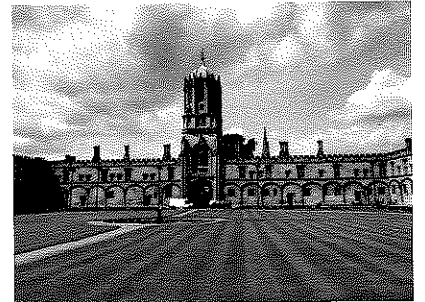
視察の中盤は、風景画を切り取ったような美しい景色に入り込み、ゆったりとした時間を過ごすことで英国の原風景を感じる事を目的とし、コッツウォルズ地方のベニスと呼ばれるポートンオンザウォーターや、「イギリスで最も美しい村」と言わしめた良好な景観が特徴のバイブリーを散策し、自然、歴史、文化といった多様な観点からのまちづくりの取り組みやデザイン手法等を学ぶことができました。



ポートン・オン・ザ・ウォーター

4) オックスフォード～ロンドン

拠点機能を集約・階層化（≒コンパクトシティの考え方）した街のつくりとして、大学を中心とした大学都市であるオックスフォードと、東京では渋谷栄一らが1918年に田園都市株式会社を設立して100年の節目であることから、イギリス第二の田園都市として1920年代にロンドンの北側に建設されたウェリン・



オックスフォード大学

ガーデンシティを散策し、センター機能の移動利便性の実態と、人口に見合う産業を導入して自立都市を形成させた現在の様子を視察しました。

ウェリン・ガーデンシティは、建築家のルイ・ド・ソワソンが約40年間一貫して町と建物のデザインを担当した結果、後にイギリスで最も快適な住宅地と評

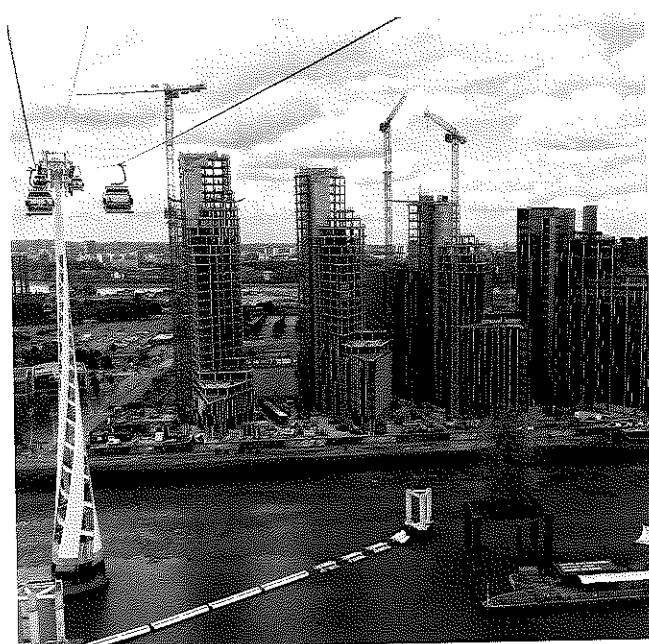


ウェリン・ガーデンシティ

されるほど、質の高い町並みデザインができあがっています。

5) ロンドン

最終目的地のロンドンでは、経済特区の設定による大都市中心部（インナーシティ）の再生策の成功例としてカナリーワーフを散策し、ウォーターフロント大規模再開発の例として現在の状況（街並み等）をテムズ川に架かるロープウェイのエミレーツ・エア・ラインより一望しました。



エミレーツ・エア・ライン

また、映画の題材にもなっている大規模水門のテムズ・バリアーと、リバーポート（水上バス）を利用してテムズ川沿いの橋梁を視察しました。

橋梁は上を歩くより下側を見た方が細かい細工が分かるのですが、遊覧船ではないためボートのスピード



テムズ・バリアー



ミレニアム橋

が速く、ミレニアムブリッジの後付の防振ダンパーは写真にはそれらしき物は写っていましたが、現地では観察できる時間的な余裕が無かった事は残念でした。

最終日は自由時間となったため、短時間無料のサンタデルサイクル（シェアサイクル）を乗り継ぎながらロンドン市内の施設を一人で散策しました。

3. おわりに

インフラ研の海外視察は専門性が高く、今回のテーマが港湾および都市開発などの街づくりだったため、橋梁とコンクリートを専門としている私としては視察目的に付いて行けるか少々不安を抱えての参加でした。

このため公式な視察目的とは別に、以前、凍結抑制剤による劣化に関して視察したイギリスの20年後の状況を観察する事を個人目的としていました。

前回の視察では、イギリスの75%の既設橋梁が腐食の進行があり、主な劣化原因が凍結抑制剤による塩害と中性化によるもので、対策として既設橋には電気防食、新設橋には表面保護剤を主に使用していると説明された記憶があります。

これらの対策が本当に有効なのかを車窓から拝見していましたが、大掛かりな補修工事を行っているコンクリート橋を見た記憶もなく、日本では車窓から見かける錆汁がにじみ出た橋梁も殆ど見なかった事から、それらの対策は本当に有効なのだと勝手ながら判断しています。また、アイルランドは更に厳しい環境なのだろうと思い、見慣れない劣化状況があるものと期待していたのですが、実際は温暖なメキシコ湾流の影響でそれほど多くの雪が降ることがなく、凍害や塩害の被害が少ないようで、意外と日本は厳しい環境なのだと思うと同時に、珍しい構造の橋梁も見ることができ個人的にはとても充実した視察になりました。

若手の会 調査WG活動報告 ～アンケート調査～

東北支部 総務部会 若手の会 調査WG
株式会社三協技術

佐々木 香葉子

1. アンケート調査実施概要

◆調査目的

本調査は建設コンサルタンツ協会（以下建コン協と表記）に所属する若手に対して、福利厚生や年休、ノー残業デー等の会社取り組みをアンケートにより調査し、悩みや問題の解決へつなげることを目的としている。

◆調査概要

調査概要を下記に示す。

調査期間	平成29年7月10日～平成29年7月21日
調査対象	建設コンサルタンツ協会本部及び各支部の若手の会関連組織に所属する委員
調査方法	支部委員にメールにて回答用URL送付 収集にはGoogleのフォーム機能を利用
回答状況	回答件数：162件

◆調査内容

アンケート調査の設問は下記の通りである。

- ①属性に関する設問：年齢、性別、出身地、在勤地、会社区分（広域コンサル、地域コンサル）
- ②ノー残業デーに関する設問：ノー残業の実施状況、実施による効果および問題
- ③福利厚生に関する設問：現在所属会社で導入されている福利厚生、導入してほしい福利厚生、福利厚生の満足度
- ④年次有給休暇に関する設問：年次有給休暇（以下年休）の消化率、年休取り残しの理由、年休の取りやすさ、会社で導入されている年休取得促進制度
- ⑤働き方に関する設問：現在所属会社で効果のあった働き方改革、仕事に求めるもの

2. アンケート調査結果

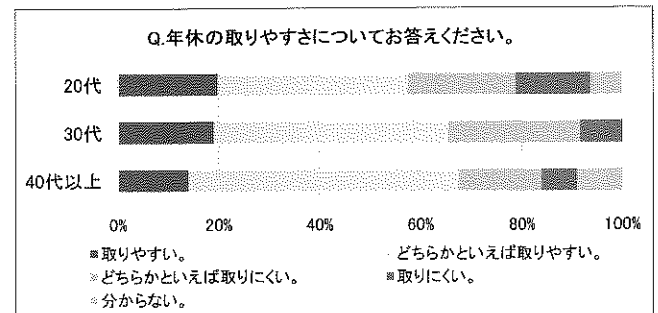
アンケート調査の結果に属性別の傾向があるか調べたところいくつか特徴が見られた。クロス集計を行った属性は、年代別、性別、会社区分別の3つである。

(1) 年代別の調査結果

アンケート結果を年代別（20代・30代・40代以上）

で整理・考察したところ「年休」に関する回答に特徴が見られた。

「年休の取りやすさ」についての問いに対し、取りやすい（下図：青色・水色）と回答したのは全年代6割程度となり、全体的に取りやすいと感じている傾向にあることが分かった。また、年代が上がるごとに取りやすいと感じている割合が増加している。



一方で、「1年間の年休消化率」の問いでは、50%以上の消化率と回答したのは全年代で4割以下となり、消化率が高いとは言えない結果であった。

また、「年休を取り残している理由」について5項目挙げたところ、20代は病気や急用の際に使うためが1位（41%）ではあったが、その他の回答項目との差はあまり見られなかった。しかし、30代・40代以上は仕事量が多いためという回答が70～60%と圧倒的に多い結果となった。その他の個別理由として、休む理由が特にないという回答も数件挙げられた。

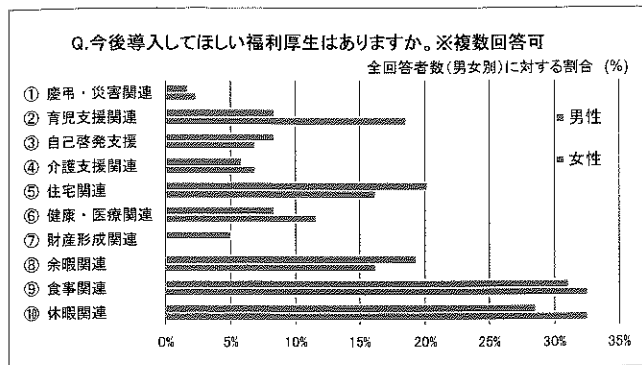
以上の結果から、全年代を通して年休は取りやすいと感じてはいるものの実際の年休消化率としては低い状況であり、今後の年休取得を促進するための対策が必要と言える。また、対策例として計画年休制度が挙げられるが、休む理由が特にないと考えている人も存在するため強制的に取得させる制度が必ずしも有効とは言えず、各々の考え方や生活スタイルに合わせ取捨選択できるような柔軟な制度を整備する必要があると考える。

(2) 性別（男女別）の調査結果

アンケート結果を性別で整理・考察したところ、

導入を希望する福利厚生について男女間で共通している項目と差が見られる項目が見つかった。

今後導入を希望する福利厚生について、回答者数に対する項目ごとの割合を算出した。(下図)



男女共通して食事と休暇に関する福利厚生を強く希望しており、食事支援の要望や有給休暇の取りづらさへの不満があるのではないだろうか。年休を取り残している理由についても回答を求めたところ、男性は仕事量の多さを理由に挙げ、女性は病気などの急用のために休暇を残していた。

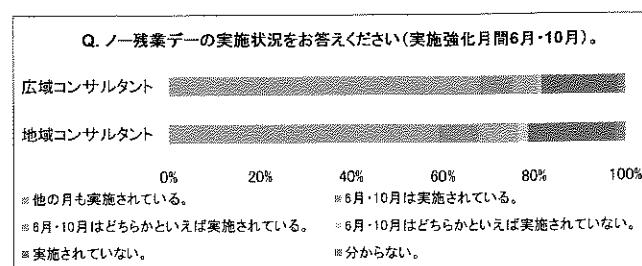
その他の項目も男女で似た傾向を示すが、②育児支援関連への意識の差で男女に大きな差がついた。男性で育児支援を求めた回答は8%程だが、女性は19%と倍近い割合で支援を求めていた。本業界における男性の育児に関する意識の低さが垣間見える。

以上の結果から、男女共通して食事と休暇に関する福利厚生を強く志望している一方、育児関連への男女の意識の差が確認された。食事関連も含めた働き方改革を業界全体で推し進め、男性の育児参加(つまりイクメン!)の推奨とバックアップを行う必要がある。

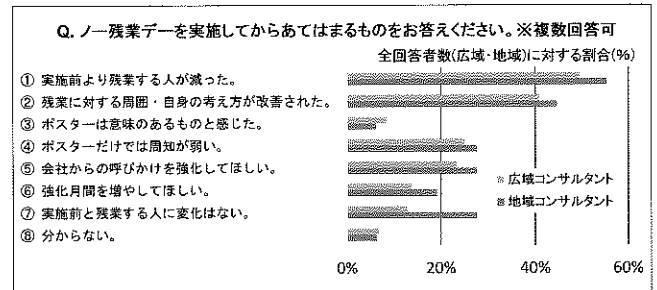
(3) 会社区分別の調査結果

アンケート結果を会社区分別(広域コンサル・地域コンサル)で整理・考察したところ、「ノー残業デーの実施状況」に差が見られた。

広域コンサルでは、建コン協会の強化月間である6月と10月を含めた実施率は81%であり、他の月も69%の実施率であるのに対し、地域コンサルでは1割ほど実施率が低い結果となった。(下図)



実施による影響について複数回答で尋ねたところ、「①実施前より残業する人が減った」「②残業に対する考え方が改善された」と約半数の人が効果を感じていることが分かる(下図)。



一方で、変化を感じていない人も全体の2割程度を占めており、自由に回答を記入する欄では「当初に比べ意識が薄らいでいる」という意見が複数あった。

ノー残業デーの実施は残業削減に一定の効果があったものの、取組が浸透してきた現在、その効果は収束傾向にあることが感じ取れる。業務量の多さや発注者の協力など、個人の努力では難しい課題を挙げる意見が多く、業界全体で更なる働き方改革を提唱していく必要がある。

3. おわりに

アンケート調査の実施にあたり、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

今後の活動では、今回のアンケート分析結果を基に「働き方」に焦点を当て課題に対する解決策の提案をしていきます。その他に、就職活動を控えた学生(大学生・高等専門学校生)を対象に「建設コンサルタントに関する意識調査アンケート」を実施し、学生の建コン業界に対する認識度や就職希望先の傾向を調査します。この学生アンケートでは「人材確保」の観点から、学生へ向けた建コン業界のPR方法を考えていく予定です。

以上

技術士試験合格体験記

八千代エンジニアリング 株式会社 権 神 侑 貴

1. はじめに

私が受験したのは、建設部門の「河川、砂防及び海岸・海洋」です。入社3年目に受験した1度目は、何も解答できず途中で帰宅しました。それから約4年、先輩に鍛えられ、少し業務を経験してきたこともあり2度目の受験に踏み切りました。

本稿では、技術士試験に合格するまでの体験を紹介させていただきたいと思います。

2. 筆記試験：択一問題

択一問題の傾向をつかむため、過去問を解くことから始めました。また、択一問題を解答するために必要な土木技術者としての基礎知識がまとめられた書籍も世に出回っておりますので、それらも購入し対策を行いました。

3. 筆記試験：記述問題

業務が多忙であったこともあり、多くの解答案を作成し対策することは時間的に無理であると判断しました。

そのため、様々な問題に対応できる汎用性のある解答案を作成し、先輩に添削をお願いしました。

また、私はダム分野を専門としてきたため、ダム分野における課題や近年の取り組みなどの情報を収集・整理し知識を増やしました。あとは自分が業務執行で学んできた知識を信じ、本番に挑みました。

本番では文章を長々と記載しても理解されにくいと考え、ポンチ絵やアンダーラインを活用した分かりやすい解答を作成しました。

4. 口頭試験

筆記試験合格後、先輩方から「若い技術者は厳しい質問が来るぞ」とプレッシャーを掛け続けられました。

そのため、口頭試験に向けてこれまで業務で経験した内容で想定質問を120個程度作成し、熟練技術者に解答のアドバイスをいただきました。また、技術者倫理や技術士制度なども抜かりなく対策しました。

本番では、私がこれまでに経験したことを適切に伝えるため、世間話をしているような緊張しない雰囲気づくりを心がけました。

5. 口頭試験直前の過ごし方

口頭試験直前は、おそらくほとんどの方が事前に準備した資料の再確認等をして過ごすことになると思います。

人それぞれ過ごし方があると思いますので参考になるかは分かりませんが、私の前日からのスケジュールを紹介します。

<前日>

午前：ホテルにてこれまで経験した業務の復習。

昼食：合格祈願でトンカツを食す。

午後：試験会場の下見をした後、ホテルにて技術者倫理や技術士制度等の復習。

夕食：合格祈願で牛カツを食す。

夕食後：事前準備資料を簡単に確認し、早目の就寝。

<当日>

朝食：合格祈願でカツサンドを食す。

午前：再度、事前準備資料を確認。

昼食：緊張かカツの食べ過ぎか不明であるが、気持ち悪くなり食べず。

午後：口頭試験

6. おわりに

私は幸いにも2度目の受験で合格することができました。これもひとえに業務において、真摯に指導くださった先輩方のおかげだと思います。(業にもすがらないで食べ続けたカツも効果があったかもしれません。)

この場を借りて、これまで関わってきた関係者の皆様に御礼申し上げます。

また、今回受験を通じて入社時から経験したことは全て、自分の血肉となっていることを改めて感じることができました。入社したばかりの方や入社数年目の方は、口うるさい先輩や日々の業務にうんざりすることもあるかと思いますが、必ずその経験が役に立つ時が来ますので自分なりにその状況を楽しんでください。

偉そうなことを書いてきましたが、私も技術者としてスタートラインに立ったばかりです。今後も口うるさい先輩の指導の下、日々の業務を楽しみながら真摯に業務を執行し、技術力向上に努めたいと思います。

技術士試験合格体験記

株式会社 建設技術研究所 加藤 史子

1. はじめに

私は、建設部門の「道路」を受験しました。大学時は建設系の学部ではなかったため、一次試験からの挑戦でした。その後、育児休業を経て3年ぶりに復帰し、今回3度目の二次試験で合格できました。ここでは、私が技術士試験に合格するまでの体験を紹介させていただきます。

2. 受験の動機

一次試験のときは、当時の上司からひとまず受験してみることを勧められ、全く土木の勉強をしておこなった当時の私は、技術士の必要性や重要性を認識することなく受験しました。その後、出産と育児で一時は現場を離れましたが、復帰して初めて仕事のやりがいを見つけたことがきっかけで、二次試験の受験を決意しました。

3. 筆記試験

筆記試験の勉強は、一次試験や他の資格試験の勉強とはかなり印象が異なるものでした。私がこれまで受けた資格試験の勉強では、分からないことは何も考えずにひたすら暗記していたので、最初の2年間は同じようにただ暗記するだけでした。しかし、一方的な暗記ではなく、暗記した項目を体系化すること、業務を通して勉強できることに少しずつ気付きました。

繁忙期を乗り越えた4月であっても勉強時間を確保することは、時間的にも精神的にも思っている以上に困難でした。そこで、平日はインプット、休日はアウトプットと決めて勉強しました。インプットでは、国交省の分科会、委員会等の公表資料や過去問の模範解答をただひたすら読み続けました。アウトプットでは、得意分野の項目別見出しと内容を箇条書きに挙げる練習やPCで論文の作成を行いました。

また、平日は子供たちが寝静まるまで、一人で近くのファミレスやカフェに行かせてもらったり、休日は夫に子どもたちとお出かけしてもらったりと、家族の協力が不可欠でした。

4. 口答試験

私の口答試験は、筆記試験の合格発表から約1ヶ月半後でした。上司からは筆記試験の自己採点が終わって間もなく、前もって準備するように言われてはいましたが、再現論文以外全く用意していなかったのがかなり焦りました。その後、周囲の方々の協力のもと、想定問答を作成し、社内や建設コンサルタンツ協会の模擬面接を数多くこなすことで不安を取り除こうと思いました。しかし、最初の数回の模擬面接では説明が長くなりがちで、論点がよく分からないとの指摘を受けました。

そこで、業務内容や経歴等の説明文は、声に出したときに一文を一呼吸で言える長さに修正しました。また、小学生の子供たちや夫の素朴な質問に、分かりやすく簡潔に説明することを意識した練習を行い、想定問の回答を修正していきました。

本番では、模擬面接で深掘りされなかったことを質問されましたが、回答を簡潔にすることを意識したことで、柔軟に対応することができました。

5. おわりに

技術士の勉強は、日ごろから携わっている分野での視野を広げさせ、必要となる考え方を養い、自分の考えを分かりやすく伝える方法を習得するための練習だと思います。

この場を借りて、受験に際しご指導して下さった方々を始め、家族一人一人に心より感謝申し上げます。

趣味に埋もれた生活

大日本コンサルタント株式会社 東北支社 品質担当部長 菊地 浩典

1. はじめに

業務課長から本書への執筆要請がありました。タイトルを聞くと『私の趣味』とのことでした。人選に思わず納得しました。支社内に私ほど時間とお金を趣味に費やしている社員はいないだろうと思われたからです。

主な趣味を列挙すると、

- ・イラスト画（10代にはプロを夢見ました）
- ・読書（誉田哲也・薬丸岳等を中心に月2～3冊程度）
- ・映画鑑賞（夫婦50割引で月2タイトル程度）
- ・ガチャポン・食玩収集（衣装ケース27箱＋a）
- ・模型・プラモデル収集（段ボール30箱程度）
- ・プラモデル・ガレージキット・自作模型作成
- ・モデルガン・電動ガン等の収集&チューニング（ハンドガン200丁、ライフル30丁程度）

等々が挙げられます。

現在、最も時間とお金を費やしているのは“モデルガン等の収集&チューニング”ですが、内容が少しダブってしまっているので、今回は“ガレージキット・自作模型作成”についてご紹介させていただきます。

2. ガレージキットってなに？

皆さんは「ガレージキット」という言葉を知っていますか。大手メーカーが製造・販売するプラモデルと違って、個人や小さなメーカーが少数製造・販売する文字通り自宅の作業小屋で手作りしたような樹脂製キットやソフトビニール製キットのことです。

プラモデルでは扱わないようなマイナーなキャラクターやコアなファン向けの製品を展開しています。

プラモデルのように接合面がきっちり合うものはまもなく、部品数もかなり少なめなので塗装時にはマスキングが必須となります。また、設計図も不親切なため上級者向けの模型といえます。

バリを取ったり、接合面を合わせて芯材を入れてパテ盛りしたり、ソフトビニール製キットではさらにへたり防止のためにレジジン樹脂を流し込んだりして一体に組み上げるまでが全体の約1/3、下地処理が約1/3、マスキングして塗装するのが約1/3位の工程となります。

電飾したり、ギミックを追加するのも醍醐味です。プラモデルと違って、作り手によって全く違った仕上がりになるのも「ガレージキット」の魅力です。

作例としてビリケン製の「初代バルタン星人」(写真-1)をご披露致します。ソフビキットです。

製作に際しては、当時の写真やプロマイド、関連図書等の資料を徹底的にリサーチしました。この時間がまた楽しいひと時です。当時は気付かなかったトリビアがいくつも隠れています。今は、インターネットがあるのでとても助かります。

しかし、初代バルタン星人は、後ろ姿（スカートの模様等）のスナップ写真が存在しない、DVDをコマ送りして、画面を写真に起こし、不明なところはイメージを膨らませて色彩と模様を再現しました。

また、バルタン星人の眼は、アクリル樹脂から削り出した半円形の芯材の上に、透明プラ板をヒートプレスで形成したカバーを取り付け、複眼を再現し、中にLEDを仕込んで電飾しました（光ります）。

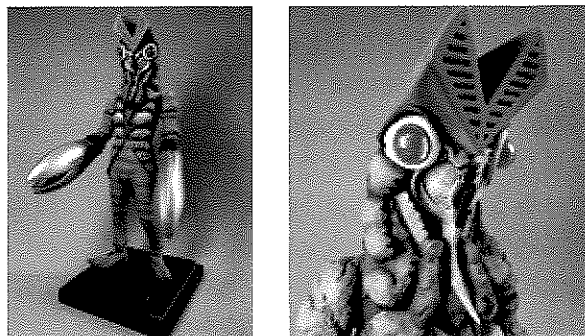


写真-1 ビリケン製 初代バルタン星人

3. 自作模型作成とは？

子供のころにハズプロというアメリカのメーカーから発売された「G.I.ジョー」という1/6可動アーミー人形が流行りました。最近ではホットトイズやエンターベイ等の香港メーカーやメディコム・トイといった国内メーカーから正式に著作権を取って、3次元スキャニング技術を駆使して本人にそっくりの1/6～1/4可動人形が販売されていますが、10数年ほど前までは、1/6可動人形といえば、白人も有色人種も敵も味方も

皆同じ顔をしていたものです。

そこで、無いならば作ってしまえということで、好きな映画の好きな人物の顔を1/6サイズで作成し、「G.I.ジョー」の素体に取り付けて、映画で着ていた衣装を作って着せ、きめポーズを楽しんじゃおうというわけです。

こちらの製作に際しても、当時の資料を徹底的にリサーチします。トリビアが待っています。

ヘッドは、スカルピーという焼成粘土で作ります。オープンで焼くことで固まる粘土で、繊細な表現が可能です。目玉は電動ガンの6mmBB弾を埋込みます。左右の耳を対称に作るのが最も難しい作業です。

ちなみに、彫塑に使用する道具類も大部分が手作りです、真鍮線の先を尖らせ箸に取り付けたものです。

ただ人形の顔を作るのではなく、誰かに似せて創るのは結構大変です。頭蓋骨を意識して作り込みます。

似顔絵をうまく書けない人は、まず3次元で顔を似せて創ることは不可能だと思います。10代にデッサンに励んだのがここで役立っています。

スカルピーの弱点は、脆くて割れやすいことと、長期的にひび割れが発生し易いことです。そこで、粘土の原型ができたなら、シリコンゴムで型を取って、2液性のレジン樹脂に置換します。これで割れにくくなりますし、いくつでも粘土原型と同じヘッドが複製できます。

その後、下地処理、塗装してヘッドの完成となります。全高約4cmサイズです。

塗装は、ベースにラッカー系塗料で白を吹いた後、透明の肌色を重ね吹きします。その後エナメル系塗料で汚しを入れたり、眼球に潤いを入れたりします。それから、衣装や小物を手作りしていきます。

ヘッドが完成したら、「G.I.ジョー」の素体に取り付け、同じく作り込んだ衣装や小物を取り付けて、ポーズを決めます。まさに至福のひと時です。

作例として映画「プラトーン」よりトムベレンジャー演じる“バーンズ軍曹”（写真-2）と映画「レオン」よりジャンレノ演じる“レオン”（写真-3）をご披露

致します。

“バーンズ軍曹”は記念すべき第1作目です。



写真-2 「プラトーン」より“バーンズ軍曹”



写真-3 「レオン」より“ジャンレノ”

4. おわりに

私は建設コンサルタントに従事して今年で36年になります。大変やりがいのある仕事でしたが、反面、他の職種に比べ、拘束時間が異常に長くストレスの多い職種であったように思います。

そんな時、オン・オフの切り替えに自宅に帰ってからの趣味活動が大変役に立ったと思っています。退職後も少し間口を狭めながら継続したいと思います。

最後に、こんな私を呆れながらも自由にさせてくれている家内に心からお礼を述べたいと思います。

—私たちは土と水と緑の技術で社会に貢献します—

国土防災技術株式会社 執行役員東北支社長 齋藤 彰 朗

弊社は、土と水と緑の技術をベースに地球環境保全の総合コンサルタントとして長年研鑽を積み、平成28年5月2日に創業50年を迎えました。

災害国日本では近年も、平成20年岩手・宮城内陸、平成23年東北地方太平洋沖、平成28年熊本等の地震・津波災害、平成29年九州北部、平成30年西日本地域等の豪雨による土砂洪水氾濫災害、その他毎年のように様々な災害に見舞われ、今後も局所的頻発化や大規模化の傾向は強まっています。

弊社は、会社発足当時からこれらの社会ニーズに応えるべく、災害地への現地調査やモニタリング試験・解析・計画および復旧対策工の設計はもとよりそれらの技術に関する研究・開発を行い、再び災害に見舞われることのない社会基盤形成に向けての環境整備に関わってまいりました。また、維持管理点検や老朽化防止・長寿命化などの社会資本整備に寄与する応用技術の提供や緑化導入技術など、土砂移動を抑制すると共に大気のCO2削減に向けた国家的あるいは地球的施策へも寄与しております。そしてこれまで研鑽してまいりました技術を駆使して、海外や国内地域への防災教育などの支援をいっそう強化し、技術による社会貢献活動を続けてまいりたいと考えております。

【事業内容】

研鑽を積んだ高度な技術を有する技術者による全国ネットワークを組織し、コンサルティング、工事・施工管理、研究開発の3つの技術で事業展開を図っています。

■ CONSULTING (コンサルティング)

安全で安心して暮らせる国土づくりのため、台風、集中豪雨、大地震、火山噴火などの自然災害から社会生活を守る技術サービスを提供いたします。

斜面防災分野（地すべり対策、急傾斜地対策、落石・岩盤崩落対策、雪崩対策）、治山・林道分野（治山調査・設計、林道調査・設計、海岸林調査・設計）河川・砂防・海岸分野（河川調査・設計、海岸調査・設計、砂防調査・計画・設計（土石流・流木対策）、環境・緑化分野（緑化計画、土壌・地下水調査、動植物調査、放射性物質

調査）、地盤環境分野（地質調査、土質調査、水文調査、軟弱地盤調査）等

■ CONSTRUCTION (工事・施工管理)

自然斜面で発生する地すべり、崩壊、落石等を的確な施工技術をもって抑止することで、安全で安心して暮らせる国土づくりに寄与するとともに、インフラ長寿命化基本計画に基づいた施設点検や老朽化防止・長寿命化などの社会資本整備に寄与する応用技術を提供いたします。地すべり防止工事（抑制工、抑止工）、斜面・法面工事（法枠工、落石対策工、地山補強土工、緑化工）、維持管理（河川・砂防・道路構造物、地すべり防止施設構造物等の点検・調査・診断）を得意としております。

■ Research & Development (研究開発)

長年培ってきた経験や技術を一步高いレベルに引き上げ、お客様のニーズに的確にお応えするために、緑化関連技術、空間情報技術、地理情報技術、放射性物質調査技術や土質試験技術における技術改良、解析技術向上、高精度の試験機開発等、新たな技術開発などを行っています。緑化関連技術、空間情報技術（GIS関連、SL3DMAP、UAV）、シミュレーション技術（地すべり、土石流、崩壊、落石）、放射性物質調査、土質試験技術（各種土質試験機多数保有）等

結びに、建設コンサルタンツ協会東北支部の一員として、微力ではありますが、災害に強い暮らしづくりに貢献してまいりたいと思っております。



国土防災技術株式会社

URL=<http://www.jce.co.jp/>

本社：〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-5
TEL 03-3436-3673 FAX 03-3432-3787
東北支社：〒984-0075 仙台市若林区清水小路6-1
TEL 022-216-2586 FAX 022-216-8586
支店：青森・盛岡・秋田・仙台・山形・福島

溢れる笑顔と明るい未来のために

株式会社 土木技研 取締役副社長 松原和則

弊社は、昭和46年4月に創業し岩手県内の道路、河川等のインフラ整備に関わる設計・測量・補償等の業務を生業に、特に橋梁を得意とする建設コンサルタントです。

平成23年3月に発生した東日本大震災により、震災復興関連業務や通常業務の受注、さらには平成25年8月豪雨災害、そして2年前の台風10号災害の災害業務等、震災前に到底経験したことがない業務量を抱え、7年の歳月が経ち今日に至っています。

災害被災地の復旧復興、地域の安全・安心のために会社全体が一丸となって業務に取り組んだ怒濤の7年間でした。設計を担当した橋梁や防潮堤等の構造物、道路、河川、海岸等の社会インフラが完成し、徐々に街や地域が復興していく姿を見ると、微力ながら社会貢献できたと感じています。

さて、我々が携わるコンサル業界を取り巻く環境は、この7年で目まぐるしく変化し課題は山積みとなっています。特に会社の存続に関わる「担い手の確保」の問題は、働き方改革、生産性の向上等が必要とされており、待った無しの状況となっています。

弊社においては、働き方改革の一環として、ワークライフバランスの見直しを図るべく、ノー残業デーの実施や社内コミュニケーションの向上、有給休暇の取得推進、育児・介護休業制度を実施しています。

生産性の向上については、国のi-Constructionの推進に対応すべく、UAV（ドローン）や3Dレーザースキャナ、3次元CADを導入し、専門部署を立ち上げ、担当技術者の育成や技術力の確保に力を注いでいます。また、橋梁点検における生産性の確保や災害等の緊急対応を見据えて橋梁点検車（BT200）を導入しました。

担い手となる若者を呼び込むには、働き方改革や生産性の向上はもちろんですが、今まさに「土木」の意

義や魅力を再認識し世の中に発信していくことが重要ではないかと考えております。「土木」は私たちの安全・安心で豊かな生活を実現する「生涯やりがいのある仕事」であること、インフラツーリズム等の情報で「身近にある土木」の魅力や面白さを発信していくことも私たち技術屋に求められているのではないかと思います。そこで、弊社では平成29年4月に「いわての橋めぐり」を発刊し、各公共施設に配付し周知しています。

最後になりますが、弊社本社前の道路は平成29年4月1日に主要地方道上米内湯沢線（県道36号）から一般国道46号盛岡西バイパスに昇格し、さらに平成33年に開通予定の宮古盛岡横断道路と繋がり、さらなる地域の活性化と発展が期待されています。土木技研としましても地元で愛される技術屋集団を目指し、建設コンサルタンツ協会東北支部の協会員皆様と共に「溢れる笑顔と明るい未来のために」微力ながら成長していけたらと思います。

皆様のご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



 株式会社 土木技研 (平成30年5月入会)

本社：岩手県盛岡市津志田南二丁目16番20号 TEL：019-638-8131 FAX：019-637-4375

URL：http://www.dobokugiken.jp/ ☆「いわての橋めぐり」無料配布中です。松原まで

平成30年度支部定時総会

4月20日(金)16:45からパレス宮城野において会員103社中70社が出席し、平成30年度支部定時総会が開催されました。



定時総会会場

冒頭、菅原支部長から次のとおり挨拶がありました。

東日本大震災から丸7年が経過した。この間、公共交通網等の基盤インフラの復旧はもとより、地域産業・生業の再生など、復興は一步一步進んできた。

インフラは土台であって、その土台の上にとどのような地域社会を再生するのか試される時代が来ている。

交通アクセスの不便さやPR不足があるにしても、やはり、外国人の風評によるイメージ悪化が影響していると推察せざるを得ない。これが払拭されるには、まだ相当の時間を要するものと思われる。

加えて東北地方の人口減少は一層進んでおり、東京圏への人口集中が顕著になっている。昨年7月に総務省が発表した人口動態調査では、都道府県で人口減少率のワースト1位は秋田県、2位は青森県で、宮城県を除く5県がワースト10に名を連ねている。

人口減に伴い、産業を支えるインフラ整備や老朽化対策が疎かになると、益々若者は地方に住まなくなり、負のスパイラルから抜け出せなくなる。

日本全体の活力向上を図るべく地方創生が叫ばれる中で、地方に仕事をつくり、安心して働くことができるようにし、地方への新しいひとの流れをつくる取り組みは、まさしく国を挙げて取り組むべき最重要課題である。

議事は、菅原支部長(議長)のもと、次の方々の議事録署名人を選出し議事に入りました。

重清 浩司(㈱ドーコン 東北支店長)

木富 順三(三井共同建設コンサルタント㈱)

東北支店長)

続いて、議案の審議が次のとおり進められました。

(1)平成29年度事業報告について

事務局長から一般報告として、会員数・内訳、事業報告として、各委員会の委員長から報告がありました。

(2)平成30年度事業計画

菅原支部長から平成30年度の事業の基本方針として、

- ①東北地方の社会資本整備の担い手として、東日本大震災からの復興を支援すると共に、住民に豊かな生活、地域の安全・安心が保てる社会資本整備の必要性を訴えていく活動を継続する。
- ②魅力ある建設コンサルタントとするため、受発注者共同による健全な労働環境の改善による働き方改革を実現し、担い手が集う環境の整備を進める。
- ③災害協定に基づく連携を強化するため、協定内容の見直しや訓練等を継続的に実施する。
- ④プロポーザル方式及び総合評価落札方式において、技術力を重視した方式や地域企業の参加可能な方式などを具体的に提案することにより、入札契約制度の改善を推進する。
- ⑤価格競争方式においては、地方自治体における低価格調査制度と失格基準の改善などを提案することにより、適正な競争制度の確立に寄与する。
- ⑥会員企業が優良な技術と知恵を持続的に提供し続けるために、技術者育成と更なる技術力向上に取り組む。
- ⑦建設コンサルタント事業領域拡大のため、発注者支援業務への積極的な取り組みと、CMなど新たな業務領域を提案する。また、コンサルタントの多様な活用を図り、品質向上を実現するため、設計共同体方式の更なる活用を提案する。
- ⑧不当な取引制限や不当な低価格競争等を排除し、コンプライアンスを遵守する。

の提案があり、続いて、各委員会の委員長から各々の委員会での事業計画の説明がなされました。

(3)平成30年度取支予算について

事務局長から説明があり、その後質疑がありました。が、質問はなく終了しました。

第1号議案 平成29年度決算について

事務局長から決算報告の説明があり、続いて原田監事から会計監査結果報告がなされ承認されました。

その他 意見・質問は無く、その後伊藤副支部長から閉会の挨拶があり、18:00時に終了しました。

平成30年度「建設コンサルタントの要望と提案」意見交換会

8月20日(月)パレス宮城野において本部と東北地方整備局・東北各県及び仙台市との意見交換会を開催しました。

出席者

(東北地方整備局)

高田局長、上坂副局長、渡邊副局長、西尾企画部長、二橋建政部長、高村河川部長、阿部道路部長、酒井港湾空港部長、樋口技術調整管理官、畠山技術開発調整官、亀井技術監理課長、
 (青森県) 新井田県土整備部 理事
 (岩手県) 中平技監兼県土整備部 河川港湾担当技監
 (宮城県) 金子土木部次長(技術担当)
 (秋田県) 佐藤建設部 建設技監
 (山形県) 早川県土整備部 整備推進監(兼)次長
 (福島県) 猪股土木部次長(企画技術担当)
 (仙台市) 太田都市整備局 参事
 (建設コンサルタンツ協会)

村田会長、高野副会長、酒井顧問、永治常任理事、野崎常任理事、重永常任理事、馬場常任理事、兼塚常任理事、福島常任理事、安藤理事、大村対外活動部会委員、兪常任委員長、三百田対外活動副委員長、梅原常務理事、高野参与、浅古業務部長、柳澤企画次長、三浦インフラストラクチャー研究員

(建設コンサルタンツ協会東北支部)

菅原支部長、伊藤副支部長、上野対外活動委員長、

松川広報委員長、小泉総務部会長、佐藤地域コン委員長、三田技術部会長

はじめに東北地方整備局高田局長および建コン村田会長の挨拶、次に出席者紹介があり、次の様な意見交換が行われました。

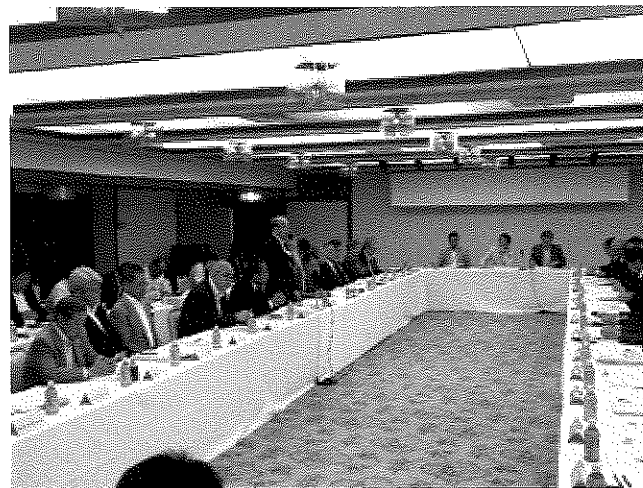
意見交換

「建設コンサルタントの要望と提案」

1. 担い手確保・育成のための環境整備
2. 技術力による選定
3. 品質の確保・向上



(高田局長挨拶)



(村田会長挨拶)

9月3日「災害時対応演習」を実施

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は東北地方に激甚な被害をもたらしました。震災から7年半、復旧・復興へ向けて国、自治体あげて懸命の取り組みが続いております。東北支部も大震災では国、宮城県との災害協定に基づき、被災状況の調査などに取り組みましたが、この震災対応を今後の被害対応に活かすべく、東北各県との災害協定の締結など検討を進めているところです。

建設コンサルタンツ協会では、毎年「災害時行動計画」に基づく演習を毎年実施しております。

本年度は9月3日(月)関東支部管内においてマグニチュード7.3の大規模地震(都心南部直下型)が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で演習を実施しました。

- ① 関東支部に災害対策現地本部を設置するとともに本部に災害対策本部を設置
 - ・災害対策本部から各支部に対し災害対策の指示
 - ・上記指示に基づき支部長から災害対策支部員の招集、災害対策東北支部設置
 - ・災害対策東北支部から災害対策本部へ支部設置の報告
- ② 災害対策支部員から「連絡会員」へ被害状況を携帯電話により照会
 - 連絡会員から被害状況をFAXにて受信
- ③ 災害対策本部及び災害対策現地本部から災害時行動支援の要請
- ④ 災害対策東北支部から「調査員の派遣」を協議・調査員派遣会員から災害地現地調査員の派遣の同意をFAXにて受診

今回の演習にあたり支部の「防災演習計画」及び進行予定表を作成し、その中で支部会員105社の内15社を「連絡会員」とし、さらに12社を「災害現地調査派遣会員」として抽出し連絡伝達等の演習を行うこととしました。また、会員各社には会社独自の演習を実施するよう要請しました。

- ※実施項目 1. 建物(特にエレベーター)、什器、備品類～損壊、転倒等の点検

2. 停電、断水、ガス漏れの点検
3. 消火器(使用期限)、トランジスタラジオ、携帯電話、懐中電灯の点検
4. 非常用保存食品、救急医薬品、作業用具の点検
5. 出張職員等の安否の確認

今回の演習の通信連絡はEメール、FAX、電話の併用ですが、「災害伝言ダイヤル」も運用されました。

「連絡会員」及び「災害現地調査会員」にご指名されました会員各社には、ご多忙の中ご協力いただきありがとうございました。



連絡会員会社に被災状況照会する災害対策東北支部員

連絡会員

(株)アサノ大成基礎エンジニアリング、朝日航洋(株)、(株)エース、(株)オオバ、(株)建設環境研究所、(株)コウキコンサルタント、(株)コサカ技研、三協コンサルタント(株)、(株)三和技術コンサルタント、柴田工事調査(株)、(株)庄内測量設計舎、(株)トーニチコンサルタント、(株)土木技研、(株)復建エンジニアリング、陸奥テックコンサルタント(株)

災害現地調査会員

(株)エイト日本技術開発、国土防災技術(株)、新和設計(株)、J R東日本コンサルタンツ(株)、(株)長大、(株)東北構造社、(株)日水コン、日本工営(株)、(株)ニュージェック、(株)パスコ、(株)福山コンサルタント、(株)双葉建設コンサルタント

建設技術公開 EE東北'18について

今年で28回目の開催となる『EE東北'18(イーイー トウホク イチハチ)』が下記の通り開催されました。EE東北は Engineering Exhibition (エンジニアリング エキシビション) の略で、毎年建設事業に関わる新技術、新工法、新材料、その他時代のニーズに対応して開発された技術を公開し、その技術の普及を図ることにより、さらなる新たな技術開発の促進と、良質な社会資本整備を通じて地域社会に寄与することを目的として開催されました。

主催はEE東北実行委員会(委員長・東北地方整備局・企画部長)で、建設コンサルタンツ協会東北支部を含む19の建設関連団体等が構成団体となっております。

出展技術数として過去最高の889技術が展示され、建設業界の方だけでなく一般の方や土木を学ぶ学生も多く来場し、建設業の将来の担い手不足解消の一助となるべく建設業の魅力を発信していました。

来場者数は6月6日(水)8,800人、6月7日(木)7,500人、2日間延べ人数16,300人で、昨年の記録(15,700人)を上回るEE東北来場者記録を塗り替え、注目度の高さが伺えました。

■開催概要

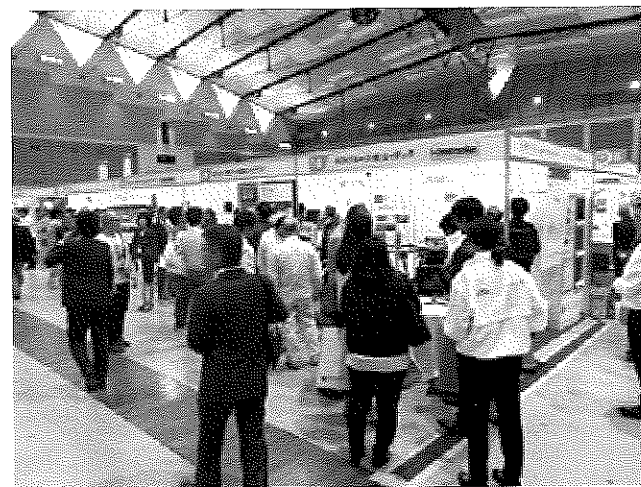
期 間：2018年6月6日(水)～6月7日(木)
場 所：みやぎ産業交流センター《夢メッセみやぎ》
来場者数：16,300人(過去最多)～主催者発表値
出 展 者：295団体・企業
出展技術：889(過去最多)
今年のテーマ：『広げよう新技術つなげよう未来へ』

また隣接会場では、今年で4回目の開催となる「i-Constraction(アイコンストラクション)」技術の1つであり普及が加速化されているUAV(ドローン)の競技会が行われ、総合技術部門では当支部会員の(株)アスコ大東が準優勝を受賞されました。

建設コンサルタンツ協会東北支部からも以下のとおり27社(グループ出展含む)が参加し、新技術の紹介展示を行いました。



オープニングセレモニー



会場の様子



みやぎ産業交流センター 夢メッセみやぎ

■ EE 東北'18 出展社・技術一覧 (協会員)

	企業名	出展技術名	概 要
1	(株) アサノ大成基礎エンジニアリング	新型小孔径観測孔用流向流速計	ボーリング孔で地下水の流向と流速が検出できます
		光ファイバーを用いた計測技術	長期耐久性に優れた光センシング技術をインフラの維持管理に活用
2	朝日航洋 (株)	インフラドクター (維持管理支援システム)	GISと3次元点群データを活用した道路・構造物の維持管理支援システム
		河川点検を効率化する高度化技術 (各種ロボット)	①遠隔操作で水中構造物の点検ができるロボット ②除草と同時に河川堤防を計測、堤体モニタリングシステム
		航空レーザ測深システム (ALB)	ワンフライトで水陸同時に三次元測量、空から効率的に河道のモニタリングができます
3	アジア航測 (株)	ALB 航空レーザ測深機	空から河川や海の水深が測れる最先端航空レーザ測深機 (ALB)
		赤色立体地図	誰でも可能な地形判読、地球の素顔が見える地図
		MMS車両搭載型計測システム	道路周辺の3次元点群と360°映像の収集と高精細な路面調査
4	(株) アスコ大東	UAVレーザ測量システム SkyScanner1	UAV搭載レーザースキャナによる三次元点群測量技術
		ハンデイスキャナシステム Stencil	SLAMによるGNSSを使用しない三次元点群測量技術
		3D点群用図化CADSmart3DCAD	3Dデータを簡単に図化を可能にしたCADシステム
		エアロボマーカー (GNSS内蔵対空標識)	RTK精度のGPS機能を搭載した対空標識
		エアロボ測量 (UAV測量レンタルサービス)	ドローン機器から3次元データ作成まで総合的にサポートするレンタルサービス
		道路保全計画システム	自社エンジンによる各種GISシステムと各種測量調査点検に低価格のCADシステム
		MMS移動計測システム RoadScanner4	MMSによる高精度・高密度三次元点群データを活用した測量技術
		路面性状調査システム PaveScanner	路面専用スキャナ (LCMS) とMMSを搭載路面性状調査データと三次元点群データを同時に取得する技術
5	応用地質 (株)	樹木総合診断サービス	地中探査技術を応用し、低コストかつスピーディーに樹木の健全性を非破壊で診断することができます
		全自動型孔内傾斜測定装置 i-RoboTilt	孔内傾斜測定を自動化して一括管理
		地盤リスク情報可視化サービス	地盤リスクの見える化により事業の安全・安心に貢献します
6	(株) オリエンタルコンサルタンツ	ICT技術を活用した道路維持管理の効率化・省力化	タブレットやスマートフォンによる道路巡回パトロール、点検業務の効率化・省力化
		リアルタイムモニタリングシステム	大規模災害時の交通マネジメントを支援
		気象情報を活用した土砂災害時の避難行動支援の高度化	土砂災害時における自治体の防災行政を支援
7	(株) 建設技術研究所	AIを活用した類似台風検索システム	類似台風検索システムを活用したタイムラインにおける防災行動の支援
		水理模型実験と水理解析の連携技術【模型】	縮尺模型水路実験と数値解析により水理現象を把握し、適切な河川改修計画の技術的サポートを行います。
		河川海岸構造物の設計・維持管理	河川等護岸の空洞調査ゲージの開発～構造物下の空隙を可視化～
		国立公園内における外来植物管理技術	外来植物侵入防止策の効果確認を目的とした排出汚泥内種子調査と発芽試験による検証
		トラブプロ	貨物車ビッグデータを活用した交通分析
8	国際航業 (株)・(株) センソクコンサルタント	GNSS衛星を用いた自動変位計測・監視サービス	shamen-net 三次元計測で地表の僅かな変位を捉える!～幅広い分野で防災や安全管理に貢献～
		3次元空間解析クラウドサービス及びPix4D	「KKC-3D」専門知識不要。初期投資不要。短時間で完成!!
		ウェアラブルを使った遠隔支援システム	ハンズフリーで情報共有することで、安全にリモート作業を効率化
		地域に密着したドローン計測サービス	東北各県の測量会社との協働で、臨機応変に撮影・計測
		ドローン運航・3次元計測スクール	i-Construction対応を強力にサポート!
9	サンコーコンサルタント (株)	三次元計測・探査・評価技術	様々な3次元計測・探査・評価技術とAR・VRのCIMへの適用
10	(株) 昭和土木設計 ((株) タックエンジニアリング)	回旋翼・回転翼ドローンによるハイブリッド調査	航測ダウンサイジング!! ドローン (回旋翼・固定翼UAV) による3D計測で効率的な点検・維持管理
		ICTを活用した3D設計イノベーション	最新3D技術によるi-Construction/CIMへのアプローチ

	企業名	出展技術名	概要
11	日本工営グループ日本工営(株)・玉野総合コンサルタント(株)・日本シビックコンサルタント(株)	BIM/CIM・ARによる点検・維持管理支援	AR(拡張現実)により点検・維持管理現場で取得したデータをBIM/CIMで一元管理するシステム
		画像処理式水位計	革新的河川管理プロジェクト参画「画像処理式水位計」
		多機能変換型TBM(MC-TBM)	TBMのカッターと隔壁に開口扉を設けることでNATMへの変更を容易とし、破砕帯等への対応性向上
		用地取得マネジメント支援システム	特許取得/事業予定地のルート比較による事業費や用地取得のリスクを考慮した事業期間のシミュレーション
12	(株)ダイエツ	浸水想定区域図+防災アプリ	浸水想定区域図作成マニュアル変更に伴うご提案
		走行画像計測によるトンネル点検	トンネル等の構造物を高解像度ビデオカメラで点検・診断を行う画像スクリーニング技術
		画像診断・計測技術を活用した橋梁点検	橋梁を高性能カメラで点検・診断を行う画像スクリーニング技術
13	(株)ダイヤコンサルタント	ドローン(UAV)を活用した計測技術	ドローン(UAV)を活用して2次元・3次元モデルを提供
		非破壊調査・診断技術【高周波衝撃弾性波調査】	波で状態を診る! -基礎杭の長さ把握・健全性評価からグラウンドアンカーの定着状態評価まで-
		大口径三重管サンプラーを用いた盛土構造物強度試験法	盛土構造物の水平方向の均質性に着目した調査・試験方法
14	中央開発(株)	高真空N&H工法	気水分離システムの導入により高い真空圧を継続的かつ安定に維持できる改良型真空圧密工法
		斜面崩壊検知センサー「感太郎」	設置の簡素化・多点化を可能にする軽量・省エネ・狭小・安価な斜面崩壊感知センサー
		双方向遠隔自動監視システム「観測王」	現場の情報をいち早く得るために様々な観測機器をリアルタイム監視する双方向遠隔自動監視システム
15	中央復建コンサルタンツ(株)	地盤情報提供サービス「地盤情報ナビ」	地盤情報や災害リスクに関する想定情報を検索できる専門家向けのポータルサイトです。
		CIM-トンネル設計への試行-	これまでの豊富なCIMに関する業務経験を活かした山岳トンネル設計へのCIMの活用!
		動画測光技術を活用したトンネル路面輝度測定	交通規制不要!容易にトンネル内路面輝度が把握できるため、照明設備更新計画や道路施設管理に活用できます
16	長大グループ(株)長大・基礎地盤コンサルタンツ(株)	型枠リユースシステムリユースボード「型丸」	コンクリート建設廃材を循環型建設資材にする「型枠リユースシステム」
		道路施設点検支援・施設台帳管理システム	現地で入力した点検情報をサーバで管理・共有する事により道路施設点検の効率化を図るシステム
			子供たちの成長の場である校舎の効果的な老朽化対策の実現
		斜張橋ケーブル点検ロボットの画像処理技術の開発	斜張橋ケーブル点検ロボットの撮影動画からケーブル外観の展開図を作成して損傷箇所を自動検出するシステム
		橋梁点検支援技術の試行	橋梁点検・調査における省力化に伴う生産性向上への取り組み
		GP(ゲルブッシュ)サンプリング	GPサンプリングは、試料を高濃度ポリマーで包むことで、乱さない地盤試料を高品質で採取します。
		衛星SARによる土構造物のモニタリング	干渉SARにより広範囲の土構造物の経年変状を一括抽出維持管理の効率化を図る
		D・BOX工法	「地盤補強+振動軽減+液状化抑制の効果をも備えた工法」(D・BOX工法)
17	(株)東京建設コンサルタント	観測孔が不要な地下水簡易測定法	サウンディングと同時に接地抵抗を利用して地下水位を簡易に測定できます。
		クラウド型・メンテナンスフリー水位計	洪水時に特化し、多数地点での観測を行うため、低コスト化、長寿命化、メンテナンスフリー化を図った水位計
18	(株)ドーコン	電波式感雨計	マイクロ波電波を用い10秒単位での降雨の有無を判別検知する狭域レーザー降雨計
		二輪型マルチコプタによる橋梁点検支援研究	二輪型マルチコプタを用いた橋梁点検支援ロボットと3D点検データ管理システムの研究開発
		環境DNA	環境DNA分析および最新のDNA分析を活用した環境調査手法の研究開発
19	(株)ニュージェック	積雪寒冷地における断熱マンホール蓋研究	日常生活に悪影響を及ぼす冬期道路段差の解消を目指した断熱マンホール蓋の性能調査・解析・評価手法の研究
		再生可能エネルギーを活用したまちづくり	地元住民による再生可能エネルギー事業の取り組み
		再生可能エネルギーによるまちづくりの取り組み	再生可能エネルギーによる地方創生の取り組み
		CIM活用の取り組み	CIM活用の現状と取り組み

	企業名	出展技術名	概 要
20	パシフィックコンサルタンツ(株)	環境DNAを活用した新たな環境調査技術	水を汲むだけで生息する水生生物が分かる新技術～従来の水生生物調査を大きく変える革命的な新技術～
		BIM/CIMベースの施設統合管理プラットフォーム	3次元モデルを基盤とした、IoT対応型の施設統合管理プラットフォーム(維持管理、省エネ、安全)
		バーチャル水位標を用いた映像処理型危機管理水位計	映像処理型水位計
		土砂災害の危険からあなたを守るアプリ「どしゃぶる」	その時、その場所の土砂災害の危険度を判定・通知する、誰でも使えるアプリ
		河川流量算出ソフト／観測システムDIEX-Flow	流体の運動方程式に基づいた流速内外挿操作によって、河川流量観測を高効率化・低コスト化・高精度化
		マルチビーム測量無人ボート【EchoBoat】	マルチビーム測量により高精度な水中部の3次元モデルを構築。計測の低コスト化、効率化を実現。
		新技術プロデュース事業	新技術・保有技術の活用拡大に向けたご提案、公的認証取得支援等により新たな価値創造を目指します。
		走行型計測によるトンネル調査MIMM-R	走行型計測技術による高精度地形測量およびトンネル調査システム【MIMM-R】
21	(株)パスコ(西尾レントオール(株))	コンパクトトラックローダマシンコントロールシステム	従来のモータグレーダと一線を画する新しい整地機械！ブレードの自動制御により高精度の施工が可能！
		情報化施工バックホウ3Dマシンガイダンスシステム	バケットの刃先を3次元誘導。モニターでオペレータへ分りやすくガイダンスします
		情報化施工3Dマシンコントロールシステム	オペレータの習熟度に左右されない高精度施工の実現！丁張作業の削減など省力化・環境保全・安全性の確保！
		MMSによる3次元データ計測技術	MMS(モバイルマッピングシステム)による3次元データを活用した道路・河川施設の維持管理業務を支援
		i-Construction/CIMに関する技術	i-Construction/CIMに対応した測量サービスと専用ソフトウェアを提供
		ブリッジハンガー(移動式橋梁検査路)	小規模橋梁を対象とした移動式橋梁検査路
		クローラ式橋梁点検車モグMBI70	コンパクトかつ高いパフォーマンス性を誇るクローラ式橋梁点検車コンパクトなのにバワフル
		移動式高所作業車YX60M	作業姿勢のままでも走行可能な作業用タイヤを採用！高所連続作業の効率化を実現！
		トラック式高所作業車YX50TG	あらゆるシーンに！ 新世代作業車！！ スカイパワー！！
		遮音壁点検車YZ30FC	小型(2t車)だから今まで入れなかった場所にもアプローチ可能
		鉄筋探査機X-ScanPS1000	誰でもその場ですぐコンクリート内部を確認できる画期的な電磁レーダー方式探査
		アンカーテスター DPG100	非破壊でアンカー耐力を素早く測定 保守・点検に最適
22	(株)福山コンサルタント	簡易水位計システム	リアルタイム水位監視が低コストで実現可能。オプションでWEBカメラの実装等、拡張性の高さも特徴。
		交通量・速度自動計測機器	軽量で機動性に優れ、設置・操作が簡単な交通量計測機器～Post Gauge～
		ビッグデータを活用した地域計画支援レポート	モバイル空間統計®、人口流動統計による「地域分析ツール」
23	(株)復建技術コンサルタント	UAV測量による河川管理	UAV写真測量およびSfM技術を活用し河川の地形変化や植生状況を把握することによる河川管理の効率化
		カート式レーダによる非破壊調査技術	カート式レーダによるコンクリート床版内部の非破壊調査とその判定
		アンカー維持管理技術	防錆油色差判定方法の構築
		地震や豪雨災害から宅地地盤と住宅をまもる技術	大地震や豪雨による宅地地盤の被害状況とその災害復旧および防災・減災のための取り組み
24	三井共同建設コンサルタント(株)	RRIモデルを適用した気候変動の影響評価	降雨・流出から洪水氾濫までを流域スケールで一体的に解析できる次世代の洪水予測モデル
		遠隔監視クラウドシステムFieldChecker	現場環境、稼働状況がリアルタイムで見えるIoTシステム
		道路施工計画検討	道路施工計画検討を行う目的～合理的で経済的な事業遂行に向けて～
25	八千代エンジニアリング(株)	地中熱等ポテンシャル調査	地中熱利用の推進をはかりたい自治体向けの事業化支援
		地下水・水資源調査	地方自治体における水資源管理支援
		自治体の危機管理訓練(災害図上訓練)	災害時において職員は全員防災担当者として、情報収集・整理報告が実施可能となる図上訓練

東北地方整備局 HP より抜粋 (公表名簿順)

平成 30 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 局長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株) 福山コンサルタント 青森営業所	津軽自動車道計画設計業務	(管理技術者) 原田 慎也	青森県 青森市	青 森 河川国道	土 木 (道路)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社盛岡営業所	上郷地区構造物詳細設計業務	(管理技術者) 山口 隆之	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (道路)
(株) 庄内測量設計舎	第一遊水地(川辺地区外)用地調査 等業務	(主任担当者) 中村 眞輝	山形県 東田川郡	岩 手 河川国道	補 償
宮古盛岡横断道路事業監理業務 東北地域づくり・建設技研・ 竹中土木・奥村設計共同体 (一社)東北地域づくり協会・ (株)建設技術研究所・(株) 竹中土木・(株)奥村組)	宮古盛岡横断道路事業監理業務	(管理技術者) 津谷 昌彦	仙台市 青葉区	岩 手 河川国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (山田宮古工区) 鹿島・エンジ ニアリング東北・中央復建・ 三井住友設計共同体 (鹿島建設(株)・(株)ネクスコ・ エンジニアリング東北・中央 復建コンサルタント(株)・三 井住友建設(株))	三陸沿岸道路事業監理業務(山田宮 古工区)	(管理技術者) 赤川 正一	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (田老普代工区) 片平新日本技 研・拓進工営・日本国土開発 設計共同体 (株)片平新日本技研・(株) 拓進工営・日本国土開発(株))	三陸沿岸道路事業監理業務(田老普 代工区)	(管理技術者) 佐久間 唯之	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古田老工区) みちのく・復 建・三協・戸田設計共同体 (みちのくコンサルタント (株)・(株)復建技術コンサル タント・三協コンサルタント (株)・戸田建設(株))	三陸沿岸道路事業監理業務(宮古田 老工区)	(管理技術者) 佐藤 利美	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (宮古箱石工区) 東北地域づく り・エイト日技・鉄建設計共 同体 (一社)東北地域づくり協会・ (株)エイト日本技術開発・鉄 建建設(株))	三陸沿岸道路事業監理業務(宮古箱 石工区)	(管理技術者) 永澤 新作	仙台市 青葉区	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (普代久慈工区) 清水・オリエ ンタルコンサルタンツ・URリ ンテージ・五洋・飛鳥設計共 同体(清水建設(株)・(株)オリ エンタルコンサルタンツ・ (株)URリンテージ・五洋建 設(株)・飛鳥建設(株))	三陸沿岸道路事業監理業務(普代久 慈工区)	(管理技術者) 小池 清峰	東京都 中央区	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (洋野工区) 工営・関東・大成・ 福山設計共同体 (日本工営(株)・(一社)関 東地域づくり協会・大成建設 (株)・(株)福山コンサルタン ト)	三陸沿岸道路事業監理業務(洋野工 区)	(管理技術者) 林 伸一	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (その他(発注支援))

特 集

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株)協和コンサルタンツ 岩手営業部	久慈洋野道路補足設計業務	(管理技術者) 中村 勇二	岩手県 盛岡市	三陸国道	土 木 (道路)
三陸沿岸道路事業監理業務 (吉浜釜石工区)熊谷組・三井 共同建設コンサルタント・公 共用地補償機構・オリエンタ ル白石設計協同体 (株)熊谷組・三井共同建設 コンサルタント(株)・(一財) 公共用地補償機構・オリエン タル白石(株)	三陸沿岸道路事業監理業務 (吉浜釜石工区)	(管理技術者) 広瀬 俊文	仙台市 青葉区	南 三 陸 国 道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (陸前高田工区)長大・ドーコ ン・ウヌマ地域総研・前田建 設工業設計協同体(株)長大・ (株)ドーコン・(株)ウヌマ 地域総研・前田建設工業(株)	三陸沿岸道路事業監理業務 (陸前高田工区)	(管理技術者) 黒澤 勝敏	仙台市 若林区	南 三 陸 国 道	土 木 (その他(発注支援))
三陸沿岸道路事業監理業務 (釜石山田工区)パシコン・安 藤間・不動テトラ設計共同体 (パシフィックコンサルタンツ (株)・(株)安藤・間・(株) 不動テトラ)	三陸沿岸道路事業監理業務 (釜石山田工区)	(管理技術者) 山藤 修	岩手県 盛岡市	南 三 陸 国 道	土 木 (その他(発注支援))
日本工営(株) 北東北事務所	南三陸水文調査	(管理技術者) 高橋 昌弘	岩手県 盛岡市	南 三 陸 国 道	土 木 (環境調査)
三陸沿岸道路事業監理業務 (歌津本吉工区)大日本コンサル タント・北光コンサル・西 松建設設計共同体 (大日本コンサルタント(株)・ 北光コンサル(株)・西松建設 (株))	三陸沿岸道路事業監理業務 (歌津本吉工区)	(管理技術者) 小野 貴之	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(発注支援))
東邦技術(株)	石巻地区外用地調査等業務	(主任担当者) 佐々木 好夫	秋田県 大仙市	仙 台 河川国道	補償
パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社	仙台都市圏幹線道路整備計画検討業 務	(管理技術者) 栃木 秀典	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (道路)
大日本コンサルタント(株) 東北支社	宮城地区防災点検設計業務	(管理技術者) 山口 淳熙	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(防災))
パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社	吉田川上流水理検討等業務	(管理技術者) 片山 直哉	仙台市 青葉区	北 上 川 下流河川	土 木 (その他(発注支援))
応用地質(株) 東北支社	鳴瀬川総合開発貯水池周辺地すべり 解析検討業務	(管理技術者) 仙石 昭榮	仙台市 宮城野区	鳴 瀬 川 総合開発	地質調査
(株)復建技術コンサルタント 秋田支店	象潟奈曾川橋詳細設計業務	(管理技術者) 鈴木 勝浩	秋田県 秋田市	秋 田 河川国道	土 木 (橋梁)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社秋田営業所	横堀道路詳細設計業務	(管理技術者) 野村 徹	秋田県 秋田市	湯 沢 河川国道	土 木 (道路)
柴田工事調査(株)	雄物川十文字管内流量観測業務	(主任技術者) 石川 和夫	秋田県 湯沢市	湯 沢 河川国道	測 量
日本工営(株) 仙台支店	中山間地域における道の駅等を拠点 とした自動運転サービス実証実験支 援業務	(管理技術者) 石川 正樹	仙台市 青葉区	能 代 河川国道	土 木 (道路)
(株)建設技術研究所 東北支社	鳥海ダム事業再評価等検討業務	(管理技術者) 鈴木 正規	仙台市 青葉区	鳥海ダム	土 木 (その他(発注支援))
(株)建設技術研究所 山形事務所	最上川上流河川整備事業検討業務	(管理技術者) 中嶋 洋平	山形県 山形市	山 形 河川国道	土 木 (河川)
新和設計(株)	最上川上流堤防強化測量設計業務	(管理技術者) 安部 権祐	山形県 米沢市	山 形 河川国道	土 木 (河川)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
三井共同建設コンサルタント(株) 東北支社	最上川下流荒興屋地区堤防質の整備 外測量設計業務	(管理技術者) 横川 勝美	仙台市 青葉区	酒 田 河川国道	土 木 (河川)
(株)地圏総合コンサルタント 仙台支店	新庄河川事務所管内事業評価検討業 務	(管理技術者) 内柴 良和	仙台市 青葉区	新庄河川	土 木 (砂防・地すべり)
阿武隈川水系砂防事業評価検 討業務砂防エンジニアリング・ 地圏総合コンサルタント設計 共同体 (砂防エンジニアリング(株)・ (株)地圏総合コンサルタント)	阿武隈川水系砂防事業評価検討業務	(管理技術者) 尾崎 順一	埼玉県 川越市	福 島 河川国道	土 木 (河川)
陸奥テックコンサルタント(株)	郡山管内交通量調査	(主任技術者) 荻野 信史	福島県 郡山市	郡山国道	測 量
(株)復建技術コンサルタント 福島支店	磐城国道管内道路計画設計業務	(管理技術者) 松本 稔	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 (道路)
協和設計(株) 東北支店	三和地区道路予備設計業務	(管理技術者) 渡邊 浩幸	仙台市 青葉区	磐城国道	土 木 (道路)
いであ(株) 盛岡営業所	北上川ダム洪水予測システム改良業 務	(管理技術者) 滝口 大樹	岩手県 盛岡市	北 上 川 ダム統合管理	土 木 (ダム)
(株)建設環境研究所 東北支社	津軽ダム環境モニタリング調査業務	(管理技術者) 町田 禎之	仙台市 宮城野区	岩 木 川 ダ ム	土 木 (環境調査)
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	月山ダム堤体観測監視業務	(管理技術者) 栗飯 原稔	仙台市 青葉区	月山ダム	土 木 (ダム)
三春ダム水質総合評価調査検 討業務水源地環境センター・ 日水コン設計共同体 (一財)水源地環境センター・ (株)日水コン)	三春ダム水質総合評価調査検討業務	(管理技術者) 木村 文宣	東京都 千代田区	三春ダム	土 木 (ダム)
(株)建設環境研究所 東北支社	樋門樋管点検調査検討業務	(管理技術者) 阿部 幸雄	仙台市 宮城野区	東北技術	土 木 (河川)

東北地方整備局 HP より抜粋 (公表名簿順)

平成 30 年度 東北支部会員 東北地方整備局 優良業務 事務所長表彰 一覧

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株) 建設環境研究所東北支社	岩木川魚類環境モニタリング業務	(管理技術者) 石川 正人	仙台市 宮城野区	青 森 河川国道	土 木 (環境調査)
(株) 三和技術コンサルタント	剣吉地区視距改良用地調査等業務	(主任担当者) 後藤 秀悦	山形県 村山市	青 森 河川国道	補 償
日本工営 (株) 仙台支店	青森管内道路管理データベース更新業務	(管理技術者) 遠藤 和志	仙台市 青葉区	青 森 河川国道	土 木 (道路)
エイト技術 (株)	馬淵川定期横断測量	(主任技術者) 川島 和彦	青森県 八戸市	青 森 河川国道	測 量
(株) コサカ技研	十和田国道道路台帳図整備測量	(主任技術者) 木戸 暁登	青森県 八戸市	青 森 河川国道	測 量
(株) 復建技術コンサルタント 青森支店	高瀬川・小川原湖水辺現地調査 (鳥類) 業務	(管理技術者) 佐藤 高広	青森県 青森市	高 瀬 川 河 川	土 木 (環境調査)
パシフィックコンサルタンツ (株) 盛岡事務所	八幡平山系砂防施設配置等検討業務	(管理技術者) 澤田 悦史	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
(株) 復建技術コンサルタント 盛岡支店	平津戸松草道路構造物詳細設計業務	(管理技術者) 高橋 智	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (道路)
(株) 建設技術研究所 盛岡事務所	一関遊水地排水樋門他設計業務	(管理技術者) 巽 龍 太郎	岩手県 盛岡市	岩 手 河川国道	土 木 (河川)
応用地質 (株) 東北支社	一関遊水地環境調査業務	(管理技術者) 藤田 大知	仙台市 宮城野区	岩 手 河川国道	土 木 (環境調査)
セントラルコンサルタント (株) 東北支社盛岡営業所	山田地区電線共同溝設計業務	(管理技術者) 野村 徹	岩手県 盛岡市	三 陸 国 道	土 木 (道路)
(株) 福山コンサルタント 北東北事務所	三陸国道管内整備効果検討業務	(管理技術者) 原田 慎也	岩手県 盛岡市	三 陸 国 道	土 木 (その他(発注者支援))
川崎地質 (株) 宮古営業所	三陸北地区地質調査	(主任技術者) 磯 高 之	岩手県 宮古市	三 陸 国 道	地 質 調 査
(株) 菊池技研コンサルタント	三陸北地区測量	(主任技術者) 津嶋 洋輔	岩手県 大船渡市	三 陸 国 道	測 量
大日本コンサルタント (株) 盛岡事務所	三陸国道管内防災点検業務	(管理技術者) 猪股 武二	岩手県 盛岡市	三 陸 国 道	土 木 (その他(防災))
(株) 建設環境研究所東北支社	三陸南地区環境調査	(管理技術者) 佐藤 功一	仙台市 宮城野区	三 陸 国 道	土 木 (環境調査)
日本工営 (株) 北東北事務所	宮古箱石地区水文調査	(主任技術者) 高橋 昌弘	岩手県 盛岡市	三 陸 国 道	土 木 (環境調査)
(株) 福山コンサルタント 北東北事務所	南三陸整備効果検討業務	(管理技術者) 原田 慎也	岩手県 盛岡市	南三陸国道	土 木 (その他(発注者支援))
(株) 東建工営	H 28 - 29 南三陸国道事務所 (中央地区) 工事監督支援業務	(管理技術者) 田澤 邦彦	宮城県 名取市	南三陸国道	土 木 (その他(発注者支援))
エイト技術 (株)	三陸沿岸道路外用地調査等業務	(主任担当者) 小笠原 健一	青森県 八戸市	南三陸国道	補 償
(株) 復建技術コンサルタント	三陸沿岸道路気仙沼唐桑地区構造物設計外業務	(管理技術者) 青沼 慎也	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (道路)
(株) 建設技術研究所東北支社	阿武隈川下流被災原因分析業務	(管理技術者) 大上 忠明	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(防災))
(株) 福山コンサルタント 東北支社	仙台管内道路整備効果検討業務	(管理技術者) 石倉 麻志	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(発注者支援))
仙台河川国道管内交通安全事業 外監理業務東北地域づくり・近代設計設計共同体	仙台河川国道管内交通安全事業外監理業務	(管理技術者) 高橋 重道	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(発注者支援))
(株) 三協技術	阿武隈川下流被災状況調査業務	(管理技術者) 木下 健司	仙台市 青葉区	仙 台 河川国道	土 木 (その他(発注者支援))

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
セントラルコンサルタント(株)東北支社	三陸沿岸道路気仙沼唐桑管内道路構造物測量設計業務	(管理技術者) 佐藤 宗孝	仙台市青葉区	仙 台 道 河川国道	土 木 (道路)
日本工営(株)仙台支店	涌谷出張所管内監理検討業務	(管理技術者) 尾崎 裕司	仙台市青葉区	北 上 川 下流河川	土 木 (その他(発注者支援))
(株)三協技術	北上川・旧北上川外水文調査	(主任技術者) 鈴木 晃彦	仙台市青葉区	北 上 川 下流河川	土 木 (環境調査)
鳴瀬川上流域空中写真測量パスコ・アジア航測設計共同体	鳴瀬川上流域空中写真測量	(主任技術者) 野口 卓	仙台市宮城野区	鳴 瀬 川 総合開発工事	測 量
(株)ダイヤコンサルタント東北支社	鳴瀬川総合開発上流地すべり地質調査業務	(主任技術者) 伊藤 靖雄	仙台市青葉区	鳴 瀬 川 総合開発工事	地質調査
東京コンサルタンツ(株)東北支店	雄物川下流新波川樋門詳細設計業務	(管理技術者) 松川 秀敏	仙台市青葉区	秋 田 道 河川国道	土 木 (河川)
(株)東建工営	秋田管内道路出張所工事監督支援業務	(管理技術者) 吉田 博史	宮城県名取市	秋 田 道 河川国道	土 木 (その他(発注者支援))
(株)オリエンタルコンサルタンツ秋田事務所	秋田仙北地区道路概略検討業務	(管理技術者) 石原 三喬	秋田県秋田市	秋 田 道 河川国道	土 木 (道路)
東邦技術(株)	刺巻線形改良等用地調査等業務	(主任担当者) 菅原 次雄	秋田県大仙市	秋 田 道 河川国道	補 償
柴田工事調査(株)	新波築堤(清水木地区)用地調査等業務	(主任担当者) 佐藤 茂樹	秋田県湯沢市	秋 田 道 河川国道	補 償
創和技術(株)	象潟地区測量業務	(主任技術者) 金子 寛己	秋田県秋田市	秋 田 道 河川国道	測 量
いであ(株)東北支店	雄物川上流河道分析・評価検討業務	(管理技術者) 黒川 信敏	仙台市青葉区	湯 沢 道 河川国道	土 木 (河川)
東邦技術(株)	雄物川上流災害調査測量等業務	(主任技術者) 加藤 勝	秋田県大仙市	湯 沢 道 河川国道	測 量
(株)ウヌマ地域総研	湯沢管内防災施設点検業務	(管理技術者) 藤田 勝	秋田県秋田市	湯 沢 道 河川国道	土 木 (その他(防災))
セントラルコンサルタント(株)東北支社秋田営業所	能代管内橋梁補修設計業務	(管理技術者) 東川 佳弘	秋田県秋田市	能 代 道 河川国道	土 木 (橋梁)
パシフィックコンサルタンツ(株)秋田事務所	米代川河道管理検討業務	(管理技術者) 堀合 孝博	秋田県秋田市	能 代 道 河川国道	土 木 (河川)
三井共同建設コンサルタント(株)東北支社	米代川洪水予測検証業務	(管理技術者) 黒澤 祥一	仙台市青葉区	能 代 道 河川国道	土 木 (河川)
(株)パスコ秋田支店	能代管内防災点検業務	(管理技術者) 大澤 昭久	秋田県秋田市	能 代 道 河川国道	土 木 (その他(防災))
日本工営(株)仙台支店	成瀬ダム堤体材料試験業務	(管理技術者) 鈴木 孝雄	仙台市青葉区	成 瀬 道 河川国道	土 木 (ダム)
エイト技術(株)	鳥海ダム貯水池(百宅上地区)物件等調査算定業務	(主任担当者) 磯島 一夫	青森県八戸市	鳥 海 道 河川国道	補 償
応用地質(株)東北支社	鳥海ダム地すべり解析業務	(管理技術者) 仙石 昭栄	仙台市宮城野区	鳥 海 道 河川国道	地質調査
(株)建設技術研究所東北支社	鳥海ダム地質解析業務	(管理技術者) 水野 直弥	仙台市青葉区	鳥 海 道 河川国道	地質調査
(株)庄内測量設計舎	新庄金山道路(上台南地区)用地調査等業務	(主任担当者) 中村 眞輝	山形県山形市	山 形 道 河川国道	補 償
パシフィックコンサルタンツ(株)山形事務所	高島地区中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験支援業務	(管理技術者) 神尾 敬	山形県山形市	山 形 道 河川国道	土 木 (道路)
いであ(株)東北支店	最上川上流河川整備検討業務	(管理技術者) 小原 一哉	仙台市青葉区	山 形 道 河川国道	土 木 (河川)
(株)復建技術コンサルタント山形支店	山形管内橋梁耐震補強設計業務	(管理技術者) 鈴木 勝浩	山形県山形市	山 形 道 河川国道	土 木 (橋梁)

特 集

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
(株) 福山コンサルタント 東北支社	置賜地区路線検討業務	(管理技術者) 田村 友治	仙台市 青葉区	山 形 河川国道	土 木 (道路)
(株) 復建技術コンサルタント 山形支店	酒田管内橋梁補修設計業務	(管理技術者) 飯土井 剛	山形県 山形市	酒 田 河川国道	土 木 (橋梁)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社 山形営業所	庄内地区交通安全施設設計業務	(管理技術者) 奥 城 洋	山形県 山形市	酒 田 河川国道	土 木 (道路)
八千代エンジニアリング(株) 東北支店	大網地区橋梁補強設計業務	(管理技術者) 山 田 努	仙台市 青葉区	酒 田 河川国道	土 木 (橋梁)
パシフィックコンサルタンツ(株) 山形事務所	赤川松尾地区堤防質の整備測量設計外 業務	(管理技術者) 佐久間 謙史	山形県 鶴岡市	酒 田 河川国道	土 木 (河川)
(株) 地圏総合コンサルタント 仙台支店	鶴岡地区地質調査業務	(主任技術者) 中川 清 森	仙台市 青葉区	酒 田 河川国道	地質調査
パシフィックコンサルタンツ(株) 山形事務所	最上川中流堤防測量設計業務	(管理技術者) 佐久間 謙史	山形県 鶴岡市	新庄河川	土 木 (河川)
(株) 復建技術コンサルタント 福島支店	中野地区道路修正設計業務	(管理技術者) 青 沼 慎 也	福島県 郡山市	福 島 河川国道	土 木 (道路)
パシフィックコンサルタンツ(株) 福島事務所	阿武隈川上流伏黒管内河川管理施設監 理検討業務	(管理技術者) 武田 光 弘	福島県 郡山市	福 島 河川国道	土 木 (河川)
(株) 福田水文センター	阿武隈川上流河道分析・評価検討業務	(管理技術者) 中本 篤 嗣	札幌市 北 区	福 島 河川国道	土 木 (河川)
(株) 復建エンジニアリング 東北支社	貝田地区道路修正設計業務	(管理技術者) 佐々木 慧	仙台市 青葉区	福 島 河川国道	土 木 (道路)
いであ(株) 福島支店	福島管内道路構造物点検補修設計業務	(管理技術者) 佐々木 貢	福島県 福島市	福 島 河川国道	土 木 (道路)
(株) 建設技術研究所東北支社	火山防災対策施設検討詳細設計業務	(管理技術者) 金野 崇 史	仙台市 青葉区	福 島 河川国道	土 木 (砂防・地すべり)
(株) 福山コンサルタント 福島営業所	福島管内道路調査業務	(管理技術者) 石倉 麻 志	福島県 福島市	福 島 河川国道	土 木 (道路)
セントラルコンサルタント(株) 東北支社福島営業所	福島西道路濁川橋詳細設計業務	(管理技術者) 佐藤 宗 孝	福島県 福島市	福 島 河川国道	土 木 (橋梁)
大日本コンサルタント(株) 福島事務所	保原地区橋梁詳細修正設計業務	(管理技術者) 木 田 勇 二	福島県 郡山市	福 島 河川国道	土 木 (橋梁)
東邦技術(株)	前川第1砂防堰堤外用地調査等業務	(主任担当者) 小 松 一 仁	秋田県 大仙市	福 島 河川国道	補 償
(株) 復建技術コンサルタント 福島支店	広瀬改良施工計画検討業務	(管理技術者) 江口 健 二 郎	福島県 郡山市	郡山国道	土 木 (道路)
国際航業(株) 福島営業所	郡山国道管内防災・構造物点検検討業 務	(管理技術者) 中村 芳 貴	福島県 郡山市	郡山国道	土 木 (道路)
基礎地盤コンサルタンツ(株) 東北支社	湯野上地区地質調査業務	(主任技術者) 西 俊 憲	仙台市 宮城野区	郡山国道	地質調査
(株) 田村測量設計事務所	浪江地区簡易パーキング用地調査等業 務	(主任担当者) 本 間 東 洋	山形県 山形市	磐城国道	補 償
(株) オリエンタルコンサルタンツ 福島事務所	北好間地区道路詳細設計他業務	(管理技術者) 石原 三 喬	福島県 郡山市	磐城国道	土 木 (道路)
日本工営(株) 福島営業所	磐城管内環境調査業務	(管理技術者) 小 島 淳	福島県 福島市	磐城国道	土 木 (環境調査)
(株) 福山コンサルタント 福島営業所	磐城管内道路整備計画検討業務	(管理技術者) 石倉 麻 志	福島県 福島市	磐城国道	土 木 (道路)
(株) キタコン	津軽ダム流量観測等業務	(主任技術者) 桑 田 賢	青森県 弘前市	岩 木 川 ダム統合管理	測 量
日本工営(株) 北東北事務所	田瀬ダム耐震性能照査業務	(管理技術者) 桑原 真 吾	岩手県 盛岡市	北 上 川 ダム統合管理	土 木 (ダム)
(株) 建設技術研究所東北支社	胆沢ダム事業効果等検討業務	(管理技術者) 高 見 隆 三	仙台市 青葉区	北 上 川 ダム統合管理	土 木 (ダム)

請負業者名	業 務 名	技術者氏名	企業所在地	所管事務所	業務区分
八千代エンジニアリング(株) 岩手事務所	胆沢ダム観測・監視検討外業務	(管理技術者) 貫井 明	岩手県 盛岡市	北上川 ダム統合管理	土木 (ダム)
日本工営(株) 仙台支店	長井ダム地すべりモニタリング業務	(管理技術者) 金子 和亮	仙台市 青葉区	最上川 ダム統合管理	地質調査
新和設計(株)	白川ダム外部変形測量	(主任技術者) 安部 権 祐	山形県 米沢市	最上川 ダム統合管理	土木 (ダム)
(株) 建設環境研究所東北支社	白川ダム水質対策検討業務	(管理技術者) 小堀 文 裕	仙台市 宮城野区	最上川 ダム統合管理	土木 (その他(発注者支援))
日本工営(株) 仙台支店	鳴子ダム地すべり調査解析業務	(主任技術者) 山田 知 寛	仙台市 青葉区	鳴子ダム	地質調査
応用地質(株) 東北支社	釜房ダム水辺現地調査(魚類)業務	(管理技術者) 播磨 さおり	仙台市 宮城野区	釜房ダム	土木 (環境調査)
玉川ダム総合管理検討業務水源 地環境センター・東京建設コン サルタント設計共同体	玉川ダム総合管理検討業務	(管理技術者) 矢沢 賢 一	東京都 千代田区	玉川ダム	土木 (その他(発注者支援))
東邦技術(株)	玉川ダム採水及び流量観測業務	(主任技術者) 小松 千 春	秋田県 大仙市	玉川ダム	測 量
日本工営(株) 仙台支店	月山ダム防災操作等検討業務	(管理技術者) 今井 素 生	仙台市 青葉区	月山ダム	土木 (ダム)
(株) パスコ福島支店	摺上川ダム貯水池堆砂測量	(主任技術者) 大津 泰 弘	福島県 福島市	摺上川ダム	測 量
(株) パスコ仙台支店	東北管内河川堤防情報把握業務	(主任技術者) 近 政 英	仙台市 宮城野区	東北技術	土木 (河川)
日本工営(株) 仙台支店	除雪グレーダの作業効率向上に関する 検討業務	(管理技術者) 神林 翠	仙台市 青葉区	東北技術	土木 (その他(機械))
仙台管内橋梁点検業務オリエン タルコンサルタンツ・エイテック 設計共同体	仙台管内橋梁点検業務	(管理技術者) 柳澤 信 也	仙台市 青葉区	東北技術	土木 (橋梁)
パンフィックコンサルタンツ(株) 青森事務所	八戸港航路泊地(埋没)付帯施設外細 部設計	(管理技術者) 瀬良 敬 二	青森県 青森市	八戸港湾 ・ 空港	港湾 (設計)
(株) 日本港湾コンサルタント 東北支店	久慈港湾口地区防波堤(北堤)6-2 区細部設計	(管理技術者) 本田 善 之	仙台市 青葉区	釜石港湾	港湾 (設計)
沿岸技術研究センター・日本港 湾コンサルタント設計共同体 (一財)沿岸技術研究センター、 (株) 日本港湾コンサルタント)	仙台塩釜港仙台港区向洋地区越波対策 検討業務	(管理技術者) 若崎 正 光	東京都 港区	塩釜港湾 ・ 空港	港湾 (計画調査)
(株) 日本港湾コンサルタント 東北支店	酒田港外港地区岸壁(-14m)付帯施 設(縮切護岸)細部設計	(管理技術者) 本田 善 之	仙台市 青葉区	酒田港湾	港湾 (設計)
中央復建コンサルタンツ(株) 福島営業所	小名浜港東港地区岸壁(-16m)(耐 震)実施設計	(管理技術者) 中野 尊 之	福島県 福島市	小名浜港湾	港湾 (設計)
(株) ニュージェック 東北支店	小名浜港東港地区岸壁細部設計	(管理技術者) 吉川 慎 一	仙台市 青葉区	仙 台 技術調査	港湾 (設計)

支部だより

[支部だより]

4月10日(火)

平成 29 年度会計監査
場 所/支部会議室

4月10日(火)

第 1 回役員会
場 所/支部会議室
議 題/(1)平成 30 年度支部定時総会について
(2)各部会・委員会からの報告事項
(3)その他

4月16日(月)

技術部会道路専門委員会
場 所/支部会議室

4月20日(金)

役員会
場 所/パレス宮城野
議 題/(1)平成 30 年度支部定時総会について
(2)その他

4月20日(金)

定時総会講演会
場 所/パレス宮城野
講 演:「東北地方整備局における最近の取り組み」
東北地方整備局 局長 津田 修一 氏
参加者 104 名

4月20日(金)

平成 30 年度支部定時総会
場 所/パレス宮城野
議 題/(1)平成 29 年度事業報告について
(2)平成 30 年度事業計画について
(3)平成 30 年度収支予算書について
(4)平成 29 年度決算報告について
そ の 他
103 社中 70 社出席

4月24日(火)

第 1 回総務部会
場 所/事務局会議室
議 題/(1)平成 30 年度年間行事予定及び担当者選出
(2)その他

4月26日(木)

第 1 回対外活動委員会
場 所/支部会議室
議 題/(1)建設コンサルタントの要望と提案について
(2)今年度の意見交換会に向けた課題整理
(3)その他

5月17日(木)

第 1 回地域コン委員会
場 所/支部会議室
議 題/(1)本部地域コン委員会の報告
(2)平成 30 年度検討事項について
(3)その他

5月18日(金)

技術部会 (副部長以上)
場 所/パレス宮城野
議 題/(1)技術部会総会について
(2)各部会からの報告
(3)そ の 他

5月18日(金)

技術部会総会
場 所/パレス宮城野
議 題/(1)平成 29 年度事業報告について
(2)平成 29 年度各専門委員会活動報告
(3)平成 30 年度事業計画(案)及び予算
(4)平成 30 年度各専門委員会委員の承認
(5)その他
出席者 90 名

5月23日(水)

宮城県建設センター「建設技術者のための基礎
研修・1」へ講師派遣
講 師/今村 隆弘 (株)復建技術 C)
正岡 裕之 (応用地質株)
山口 淳熙 (大日本 C 株)

5月23日(水)

山形県平成 30 年度既設橋の耐震補強設計に関する
勉強会へ講師派遣
講 師/石井 一人 (パシフィック C 株)

5月24日(木)

第1回情報部会
場 所/支部会議室
議 題/(1) CIM ハンズオン研修の概要について
(2) WG 活動体制・活動予定について
(3) その他

5月29日(火)

第2回役員会
場 所/支部会議室
議 題/(1) 役員改選について
(2) 50周年記念事業及び「近未来の提言」
関係について
(3) その他

5月29日(火)

三次元CADハンズオン講習会
場 所/盛岡 マリオス 180 会議室
主 催 東北支部 情報部会 受講者 20名

5月30日(水)~31日(木)

三次元CADハンズオン講習会
場 所/アーク仙台ビル会議室
主 催 東北支部 情報部会 受講者 両日 20名

6月4日(月)

技術部会構造専門委員会
場 所/支部会議室

6月6日(水)~7日(木)

EE東北'18
場 所/夢メッセみやぎ
入場者 2日間延べ人数 16,300名

6月8日(金)

50周年実行委員会
場 所/支部会議室
議 題/(1) 50周年役割分担
(2) その他調整事項

6月11日(月)

技術部会地盤専門委員会
場 所/支部会議室

6月12日(火)

技術部会道路専門委員会
場 所/支部会議室

6月12日(火)

宮城県防災訓練

6月12日(火)~13日(水)

青森県建設技術センター平成30年度「土質研修会」
へ講師派遣

講 師/正岡 裕之 (応用地質(株))
山田 満秀 (株)ダイヤC)
今村 隆弘 (株)復建技術C)
山口 淳熙 (大日本C(株))
西山 弘 (株)総合技術C)

6月13日(水)

「近未来への提言」説明会 並びに
「働き方改革」宮城労働局 講演会
場 所/ホテル法華クラブ仙台
主 催 東北支部 総務部会 参加者 166名

6月19日(火)

第2回対外活動委員会
場 所/支部会議室
議 題/(1) 平成30年度意見交換会について
(2) その他

6月20日(水)

道路橋示方書改定に伴う設計計算例講習会
場 所/仙台国際センター 大会議室「橋」
主 催 (一社) 建設コンサルタンツ協会、
(一社) 日本橋梁建設協会
(一社) プレストレスト・コンクリート建設
業協会
(一社) 日本建設業連合会
受講者 229名 (内建コン 138名)

6月22日(金)

第2回広報委員会
場 所/支部会議室
議 題/(1) JCCATOHOKU の編集について
(2) その他

6月26日(火)

第3回役員会
場 所/支部会議室
議 題/(1) 平成30年度本部・整備局意見交換会につ
いて
(2) 50周年記念事業関係について
(3) 各委員会からの提案議題・連絡事項

支部だより

6月26日(火)

宮城県建設センター「建設技術者のための基礎
研修・2」へ講師派遣
講師/石井 一人 (パシフィックC(株))

6月27日(水)

対外活動委員会
場所/支部会議室
議題/(1)宮城県との意見交換会について他協会と打
合せ

7月2日(月)

技術部会道路・構造専門委員会
場所/支部会議室

7月10日(火)

「マネジメントセミナー」
場所/ホテル法華クラブ仙台
主催 本部 受講者 114名

7月13日(金)

技術部会
場所/支部会議室

7月18日(水)

福島県土木部職員専門研修「成果品のエラー
防止について」へ講師派遣
講師/佐藤 和憲 (陸奥テックC(株))

7月19日(木)

経営者委員会
場所/ホテル法華クラブ仙台
議題/(1)本部地域コンサルタント委員会の報告
(2)本部・整備局意見交換会について
講演会「東北技術事務所の概要～技術革新
・人材育成～」
講師：東北地方整備局 東北技術事務所
所長 稲葉 護 氏

7月19日(木)～20日(金)

CIMハンズオン講習会
場所/アーク仙台ビル会議室
主催 本部 情報部会 ICT 委員会 CIM 技術専門委
員会 東北支部 情報部会
受講者 19日 20名、20日 19名

7月19日(木)

平成29年度東北地方整備局国土交通行政関係
功労者表彰式

東北地方整備局では国土交通行政関係功労者に対し
て表彰式を行っています。

本年度は優良業務施行会社、災害対策功労者として、
次の会員の方々が受賞されました。

誠にありがとうございます。

[優良業務施行会社]

(株)福山コンサルタント 青森営業所

津軽自動車道計画設計業務

セントラルコンサルタント(株) 東北支社盛岡営業所

上郷地区構造物詳細設計業務

(株)庄内測量設計舎

第一遊水地(川辺地区外)用地調査等業務

(株)建設技術研究所

宮古盛岡横断道路事業監理業務

中央復建コンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務(山田宮古工区)

(株)片平新日本技研

三陸沿岸道路事業監理業務(田老普代工区)

(株)復建技術コンサルタント

三陸沿岸道路事業監理業務(宮古田老工区)

三協コンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務(宮古田老工区)

(株)エイト日本技術開発

三陸沿岸道路事業監理業務(宮古箱石工区)

(株)オリエンタルコンサルタント

三陸沿岸道路事業監理業務(普代久慈工区)

(株)福山コンサルタント

三陸沿岸道路事業監理業務(洋野工区)

(株)協和コンサルタント

久慈洋野道路補足設計業務

三井共同建設コンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務(吉浜釜石工区)

(株)長大

三陸沿岸道路事業監理業務(陸前高田工区)

(株)ドーコン

三陸沿岸道路事業監理業務(陸前高田工区)

(株)ウヌマ地域総研

三陸沿岸道路事業監理業務(陸前高田工区)

パシフィックコンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務(釜石山田工区)

日本工営(株)

南三陸水文調査

大日本コンサルタント(株)

三陸沿岸道路事業監理業務(歌津本吉工区)

東邦技術(株)

石巻地区外用地調査等業務

パシフィックコンサルタンツ(株) 東北支社
 仙台都市圏幹線道路整備計画検討業務
 吉田川上流水理検討業務
 大日本コンサルタント(株) 東北支社
 宮城地区防災点検設計業務
 応用地質(株) 東北支社
 鳴瀬川総合開発貯水池周辺地すべり解析検討業務
 (株)復建技術コンサルタント 秋田支店
 象潟奈曾川橋詳細設計業務
 セントラルコンサルタント(株) 東北支社秋田営業所
 横堀道路詳細設計業務
 柴田工事調査(株)
 雄物川十文字管内流量観測業務
 日本工営(株) 仙台支店
 中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転
 サービス実証実験支援業務
 (株)建設技術研究所 東北支社
 鳥海ダム事業再評価等検討業務
 (株)建設技術研究所 山形事務所
 最上川上流河川整備事業検討業務
 新和設計(株)
 最上川上流堤防強化測量設計業務
 三井共同建設コンサルタント(株) 東北支社
 最上川下流荒興屋地区堤防質の整備外測量設計業務
 (株)地圏総合コンサルタント 仙台支店
 新庄河川事務所管内事業評価検討業務
 (株)地圏総合コンサルタント
 阿武隈川水系砂防事業評価検討業務
 陸奥テックコンサルタント(株)
 郡山管内交通量調査
 (株)復建技術コンサルタント 福島支店
 磐城国道管内道路計画設計業務
 協和設計(株) 東北支店
 三和地区道路予備設計業務
 いであ(株) 盛岡営業所
 北上川ダム洪水予測システム改良業務
 (株)建設環境研究所 東北支社
 津軽ダム環境モニタリング調査業務
 樋門樋管点検調査検討業務
 八千代エンジニアリング(株) 北日本支店
 月山ダム堤体観測監視業務
 (株)日水コン
 三春ダム水質総合評価調査検討業務

[災害対策功労者] (会社名のみ記載します)
 応用地質(株)秋田支店、(株)東建工営、
 日本工営(株)仙台支店、柴田工事調査(株)

7月20日(金)

技術部会 (副部長以上)
 場 所/支部会議室
 議 題/(1)各専門委員会の運営調整
 (2)その他

7月26日(木)

第2回情報部会
 場 所/支部会議室
 議 題/(1)各種講習会について
 (2)HPについて
 (3)その他

7月31日(火)

第4回役員会
 場 所/支部会議室
 議 題/(1)各県との意見交換会について
 (2)各部会・委員会からの連絡事項
 (3)その他

8月3日(金)

契約のあり方講習会
 場 所/ハーネル仙台
 主 催 本部企画委員会 契約のあり方専門委員会
 東北支部 受講者 60名

8月9日(木)・10日(金)

G I S講習会
 場 所/アーク仙台ビル 会議室
 主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 ICT 普及専門委
 員会
 支部 情報部会
 受講者 9日 18名・10日 16名

8月20日(月)

本部・整備局意見交換会
 東北地方整備局 高田局長 他17名
 本部 村田会長 他17名
 支部 菅原支部長 他7名
 議 題
 1. 平成30年度建設コンサルタントの要望と提案
 2. 意見交換

8月21日(火)

対外活動委員会
 場 所/支部会議室
 議 題/(1)本部・整備局意見交換会概要報告
 (2)各県意見交換会日程、議題案状況報告
 (3)その他

支部だより

8月23日(木)・24日(金)

G I S 講習会

場 所/アーク仙台ビル 会議室

主 催 本部 情報部会 ICT 委員会 ICT 普及専門委員会

支部 情報部会

受講者 23日 17名・24日 15名

8月30日(木)

福島県土木部職員専門研修「舗装の調査・評価
について」へ講師派遣

講 師/兒玉 浩行 (株)エイト日本技術開発

8月31日(金)

独占禁止法研修会並びに軽減税率説明会

場 所/建設産業会館

講 師/仙台国税局 消費税課

国税実査官 坂澤 文佳 氏

公益財団法人 公正取引協会

事務局長 渡辺 健一 氏

(一社) 建設コンサルタンツ協会東北支部,

(一社) 宮城県測量設計業協会,

(一社) 日本補償コンサルタント協会東北支部,

(公社) 全国上下水道コンサルタント協会東北支部,

(一社) 東北測量設計協会,

(一社) 東北地質調査業協会、6団体の共催

出席者 282名 (建コン会員 113名)

9月3日(月)

災害時対応演習 [11:00 ~ 15:00]

11:00 関東支部管内においてマグニチュード7.3の大規模地震が発生し、東北支部に災害対策支部を設置したとの想定で災害対策支部員を招集。

会員の被災状況を把握するため、予め決めていた連絡会員会社15社へ携帯電話により被害状況照会、会員より被害状況をFAXにより受信。

また、被災現地への派遣のため、予め決めていた災害現地調査派遣会員12社と協議・派遣等の訓練を実施した。

9月3日(月)

第5回役員会

場 所/支部会議室

議 題/(1)役員改選について

(2)50周年記念事業について

(3)その他

9月4日(火)

第3回広報委員会

場 所/支部会議室

議 題/(1)J C C A TOHOKU58の編集について

(2)50周年記念事業について

(3)その他

9月4日(火)~7日(金)

岩手県土木技術専門研修「地質、道路・河川

計画 第1期」へ講師派遣

講 師/正岡 裕之 (応用地質(株))

高田 正治 (株)エイト日本技術開発

佐々木 誉 (東邦技術(株))

秋山 和也 (八千代E(株))

堀合 孝博 (パシフィックC(株))

佐藤 亮 (株)菊池技研C)

岡田 篤 (大日本C(株))

木村 重喜 (株)オリエンタルC)

9月6日(木)

東北地方整備局道路構造物技術セミナーへ講師派遣

講 師/石井 一人 (パシフィックC(株))

9月7日(金)

岩手県との意見交換会

場 所/エスポワールいわて

岩手県 中平河川港湾担当技監 他 6名

協 会 菅原支部長他 15名

議 題/建コンからの提案議題

(1)担い手確保・育成のための環境整備

(2)技術力による選定

(3)品質の確保・向上

(4)そ の 他

9月8日(土)

建コン交流会 (ビール工場見学およびBBQ)

場 所/麒麟ビール仙台工場

参加者 51名

9月10日(月)~11日(火)

福島県土木部職員専門研修「長寿命化修繕計画」

へ講師派遣

講 師/石井 一人 (パシフィックC(株))

三浦 俊史 (株)近代設計

櫻井 寿樹 (中央C(株))

尾崎 裕司 (日本工営(株))

9月12日(水)

技術部会 (地盤・防災専門委員会)

場 所 / 支部会議室

9月25日(火)~28日(金)

岩手県土木技術専門研修「地質、道路・河川
計画 第2期」へ講師派遣

講 師 / 正岡 裕之 (応用地質株)
高田 正治 (株エイト日本技術開発)
佐々木 誉 (東邦技術株)
秋山 和也 (八千代E株)
堀合 孝博 (パシフィックC株)
佐藤 亮 (株菊池技研C)
岡田 篤 (大日本C株)
木村 重喜 (株オリエンタルC)

9月26日(水)

技術担当者会議

場 所 / パレス宮城野

主 催 支部 技術部会

受講者 55名

9月27日(木)

山形県県土整備部建設マネジメント研修Ⅱ (応用編)

へ講師派遣

講 師 / 伊藤 信生 (株庄内測量設計舎)

[会員の動向]

◆ 新入会員の紹介

- 平成30年4月1日入会 国土防災技術(株) 東北支社
支社長 齋藤 彰朗
〒984-0075 仙台市若林区清水小路6-1
TEL 022-216-2596 FAX 022-216-8586
- 平成30年5月1日入会 (株)土木技研
代表取締役社長 海野 伸
〒020-0839 岩手県盛岡市津志田南2-16-20
TEL 019-638-8131 FAX 019-637-4375
- 平成30年6月1日入会 (株)エース 仙台営業所
所長 藤田 伸二
〒980-0003 仙台市青葉区小田原5-1-53
TEL 022-797-9718 FAX 022-797-9719

◆ 会員の異動 (次の方が就任されました)

- 平成30年4月1日 (株)橋梁コンサルタント 東北事務所
所長 平池 健人
- 平成30年4月1日 中央開発(株) 東北支店
支店長 三浦 正人
- 平成30年4月1日 日本工営(株) 仙台支店
支店長 松永 忠久
- 平成30年6月1日 (株)オオバ 東北支店
支店長 納村 和秀
- 平成30年8月 エイト技術(株)
代表取締役社長 佐藤 富一
- 平成30年9月13日 (株)新和調査設計
代表取締役社長 飯澤 清美

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 東北支部 会員名簿

会員9月1日現在 105社

会社名	事業所名	郵便番号・住所	電話番号
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	東北支社	〒981-3133 仙台市泉区泉中央2-25-6	022-343-8166
朝日航洋	(株)東北空情支社	〒981-3131 仙台市泉区七北田字古内1-1	022-771-2382
アジア航測	(株)仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-4-28	022-216-3553
(株)アスコ大	東北支店	〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1	022-724-7530
(株)東コンサルタン	ト本社	〒970-8026 福島県いわき市平字正内町101	0246-23-8424
(株)アーバン設	計本社	〒963-0201 福島県郡山市大槻町字御前東46-26	024-961-7500
いであ	(株)東北支店	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-1-11	022-263-6744
(株)ウエス	コ東北事務所	〒981-1106 仙台市太白区柳生1-11-8	022-797-5271
(株)ウヌマ地域総	研本社	〒010-0965 秋田県秋田市八橋新川向13-19	018-863-5809
(株)エイト日本技術開	発東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-712-3555
(株)エー	仙台営業所	〒980-0003 仙台市青葉区小田原5-1-53-208	022-797-9718
応用地質	(株)東北支社	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町3-21-2	022-237-0471
(株)オオ	東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町14-4	022-261-8861
(株)オリエンタルコンサルタン	ト東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1	022-215-5522
開発虎ノ門コンサルタン	ト(株)東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-24	022-292-5220
(株)片平新日本技	研東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-722-3130
川崎地質	(株)北日本支社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-16	022-792-6330
(株)菊池技研コンサルタン	ト本社	〒022-0007 岩手県大船渡市赤崎町字石橋前6-8	0192-27-0835
基礎地盤コンサルタン	ト(株)東北支社	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2-9-23	022-291-4191
キタイ設計	(株)東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-6-53	022-343-5416
(株)キタ	コ本社	〒036-8051 青森県弘前市大字宮川1-1-1	0172-34-1758
(株)キタ	ツク仙台事務所	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-1-37	022-265-1051
(株)橋梁コンサルタン	ト東北事務所	〒963-8024 福島県郡山市朝日1-28-14	024-953-3667
(株)協和コンサルタン	ト東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院2-1-14	022-266-6073
協和設計	(株)東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-2235
(株)ケー・シー・エ	ス東北支社	〒984-0074 仙台市若林区東七番丁161	022-217-6750
(株)建設環境研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区中央4-10-3	022-224-1591
(株)建設技術研究所	東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-265-0666
(株)建設技術センター	仙台営業所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25	022-261-6861
(株)コウキコンサルタン	ト本社	〒982-0262 仙台市青葉区西花苑2-15-23	022-302-1195
(株)構研エンジニアリング	東北営業所	〒996-0902 福島県喜多方市松山町村松字小荒井道西405-10	0241-24-2701
(株)郡山測量設計	社本社	〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-1-53-203	022-344-6231
(株)国際開発コンサルタン	ト仙台支店	〒963-8041 福島県郡山市富田町字十文字54-3	024-952-5200
国際航業	(株)東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区一番町1-5-25	022-225-6201
国土防災技術	(株)東北支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45	022-299-2801
(株)コサカ技	研本社	〒984-0075 仙台市若林区清水小路6-1	022-216-2586
(株)コンテック東日本	本社	〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字上碓田56-2	0178-27-3444
(株)寒河江測量設計事務	所本社	〒030-0122 青森県青森市大字野尻今田91-3	017-738-9346
(株)サト	一技建本社	〒991-0003 山形県寒河江市大字西根字長面153-1	0237-86-5520
(株)三協技	術本社	〒984-0816 仙台市若林区河原町1-6-1	022-262-3535
三協コンサルタン	ト(株)本社	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-8-14	022-224-5503
サンコーコンサルタン	ト(株)東北支店	〒994-0062 山形県天童市長岡北1-2-1	023-655-5000
(株)三和技術コンサルタン	ト本社	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-2	022-273-4448
柴田工事調査	(株)本社	〒995-0015 山形県村山市楢岡二日町7-21	0237-55-3535
(株)庄内測量設計	舎本社	〒012-0801 秋田県湯沢市岩崎字南五条61-1	0183-73-7171
昭和土木設計	(株)東北支社	〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地69-9	0234-43-2459
(株)昭和土木設	計本社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-6-1	022-742-5301
(株)新和設	計本社	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-6-1	022-742-5301
(株)新和調	査設計本社	〒020-0891 岩手県紫波郡矢町流通センター南4-1-23	019-638-6834
JR東日本コンサルタン	ト(株)東北支店	〒992-0021 山形県米沢市大字花沢880	0238-22-1170
セントラルコンサルタン	ト(株)東北支社	〒963-8016 福島県郡山市豊田町4-12	024-934-5311
		〒983-0853 仙台市宮城野区東六番丁31-2	022-211-0872
		〒980-0822 仙台市青葉区立町27-21	022-264-1923

会社名	事業所名	郵便番号・住所	
(株) 創研コンサルタンツ	本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王1-9-22	018-863-7121
(株) 総合技術コンサルタンツ	東北支店	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-3-2	022-268-4191
創和技術	(株) 本社	〒010-0951 秋田県秋田市山王6-20-7	018-863-4545
(株) 高島テクノロジーセンター	東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-3	022-792-8251
玉野総合コンサルタンツ	(株) 仙台支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-13-22	022-716-6646
(株) 田村測量設計事務所	本社	〒990-0023 山形県山形市松波4-12-3	023-642-6644
第一復建	(株) 仙台事務所	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-722-3701
(株) ダイエツ	本社	〒965-0831 福島県会津若松市表町2-53	0242-26-1253
大日コンサルタンツ	(株) 仙台事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-225-5626
大日本コンサルタンツ	(株) 東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35	022-261-0404
(株) ダイヤコンサルタンツ	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1	022-263-5121
大和工営	(株) 本社	〒996-0053 山形県新庄市大字福田字福田山711-43	0233-22-2422
(株) 地圏総合コンサルタンツ	仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25	022-261-6466
中央開発	(株) 東北支店	〒984-0016 仙台市若林区蒲町東20-6	022-766-9121
(株) 中央技術コンサルタンツ	東北支店	〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-13-4	022-375-6787
中央コンサルタンツ	(株) 仙台支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-27	022-722-2541
中央復建コンサルタンツ	(株) 東北支社	〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7	022-267-1459
中電技術コンサルタンツ	(株) 東北営業所	〒981-0014 仙台市青葉区本町1-13-22	022-397-8173
中部復建	(株) 東北支社	〒980-0801 仙台市青葉区木町通2-5-18	022-274-8190
(株) 部長	大 仙台支社	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-2-26	022-781-8628
(株) 千代田コンサルタンツ	東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-2	022-214-6261
(株) 東京建設コンサルタンツ	東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-10-17	022-222-8887
東京コンサルタンツ	(株) 東北支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-20	022-265-3891
(株) 東建工営	本社	〒981-1227 名取市杜せきのした1-2-7	022-383-9811
(株) トーニチコンサルタンツ	東北事務所	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-7-30	022-262-0243
(株) ドーコン	東北支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-25	022-225-2860
東邦技術	(株) 本社	〒014-0041 秋田県大仙市大曲丸子町2-13	0187-62-3511
(株) 東北開発コンサルタンツ	本社	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-33	022-225-5661
(株) 東北構造社	本社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3	022-227-1877
(株) 土木技研	本社	〒020-0839 岩手県盛岡市津志田南2-16-20	019-638-8131
日栄地質測量設計	(株) 本社	〒970-8026 福島県いわき市平字作町1-3-2	0246-21-3111
(株) 日水コン	東北支所	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17	022-222-1101
日本工営	(株) 仙台支店	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-1-11	022-227-3525
(株) 日本構造橋梁研究所	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-713-6657
(株) 日本港湾コンサルタンツ	東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-5	022-215-9051
日本振興	(株) 東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-3-10	022-291-3810
(株) ニュージェック	東北支店	〒981-0912 仙台市青葉区堤町1-1-2	022-301-7611
パシフィックコンサルタンツ	(株) 東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1	022-302-3940
(株) パスコ	東北事業部	〒983-0864 仙台市宮城野区名掛丁205-1	022-299-9511
(株) 東日本建設コンサルタンツ	本社	〒974-8261 福島県いわき市植田町林内26-5	0246-63-6063
(株) 福田水文センター	東北営業所	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-6-18	022-224-1417
(株) 福山コンサルタンツ	東北支社	〒980-0802 仙台市青葉区二日町13-17	022-262-0118
富士コンサルタンツ	(株) 仙台支店	〒982-0013 仙台市太白区太子堂10-20	022-395-6216
(株) ふたば	本社	〒963-1111 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央592	0240-22-0261
(株) 双葉建設コンサルタンツ	本社	〒996-0002 山形県新庄市金沢字谷地田1399番11	0233-22-0891
(株) 復建エンジニアリング	東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-10	022-267-2765
(株) 復建技術コンサルタンツ	本社	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-7-25	022-262-1234
復建調査設計	(株) 東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-2-20	022-723-5830
三井共同建設コンサルタンツ	(株) 東北支社	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3	022-225-0489
陸奥テックコンサルタンツ	(株) 本社	〒963-8011 福島県郡山市若葉町17-18	024-922-2229
八千代エンジニアリング	(株) 東北支店	〒980-0802 仙台市青葉区二日町1-23	022-261-8344
(株) 横浜コンサルティングセンター	仙台支店	〒980-0011 仙台市青葉区上杉2-3-7	022-262-1493

編集後記

本誌が会員の皆様へ届く頃は、すっかり秋らしくなっている頃と
思われますが、今年の夏はとにかく暑かった。仙台も8月1日に既
往最高となる37.3℃を記録した。これも地球温暖化のなせる業か？

ここ数年、毎年のように既往最大を超える降雨が発生し河川の
氾濫や土砂災害が発生している。特に今年7月の豪雨は、愛媛県、
広島県、岡山県を中心として西日本の各地で既往最大を更新し、
河川の氾濫や土砂崩れを発生させ死者221名、全半壊家屋15,970
棟、家屋浸水29,092棟と甚大な被害をもたらした。この豪雨は、
台風7号の影響で活発化した梅雨前線によるらしいが、異常な海
水温上昇に伴う太平洋からの湿った空気が大量に流れこみ大雨

をもたらしたそうである。平成における最大の豪雨災害であった。

その後7月末には今までにない西南へ進んだ台風12号も発生した。これも特異な気象現
象であるが、朝鮮半島から北日本に張り出した勢力の強い夏の高気圧と東海沖に存在した
反時計回りの寒冷渦が原因らしい。その後も、台風21号では大阪湾で高潮と風速58m/s
の強風による吹上で関西空港が浸水し大混乱となった。更に気象現象とは関係ないが、6
月には大阪府でも震度6弱の地震が発生し、死者5名、負傷者435名を数える被害となった。
9月6日には、北海道厚真町で震度7の地震により全道が停電するという国内初のブラッ
クアウトが発生した。厚真町では土砂崩れにより40名を超える尊い命が失われている。

本当に大きな災害が頻発した夏であった。業界として更なる国の防災力向上のバック
アップに力を入れなければと痛感させられた。改めてお亡くなりになられた方々のご冥福
をお祈りするとともに、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げます。

災害の話ばかりではつまらないので、楽しい話も一つ。第100回を迎えた夏の甲子園大
会である。優勝すると宣言し春夏2連覇を果たした大阪桐蔭高校の強さに感服したが、惜
しくも準優勝となった秋田県立金足農業高校は、部員全員が地元の中学校の出身者であり
本来の高校野球の在り方を見せてくれ、東北人のみならず多くの国民を感動させてくれた。
災害が続く中一服の清涼剤となったように感じている。

ところで、今年は建コン東北支部が発足50年を迎え、11月9日には東北支部50周年記念
事業として読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を迎え記念講演が行われ、祝賀会では津軽
三味線姉妹ユニット「ゆりあい」による生演奏が披露される。半世紀を迎えた建コン東北
支部を祝い、業界が次の半世紀に向けさらに飛躍することを願うとともに、関係各位の多
数の来場を期待したい。

建設コンサルタンツ協会東北支部 創立50周年記念式典

開催日時：平成30年11月9日（金） 15：30～20：00

開催場所：ホテルメトロポリタン仙台（宮城県仙台市青葉区中央1-1-1）

（平成30年9月 大場 秀行 記）

JCCA TOHOKU Vol.58

発行 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会東北支部

〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-11

アーク仙台ビル

TEL 022-263-6820

編集 広報委員長 松川 秀敏

副委員長 菊池 透 副委員長 佐藤 敏倫

広報委員 大友 正樹 広報委員 佐藤 雅樹

〃 大場 秀行 〃 遠藤 徹也

〃 高橋 伸彰 〃 野口 敬一

〃 樋口 章大 〃 庄司 敏彦

〃 海藤 剛 〃 武田 浩幸

〃 横川 勝美

事務局 新野 俊晴・小川 みゆき

印刷 ハリウコミュニケーションズ株式会社

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

TEL 022-288-5011